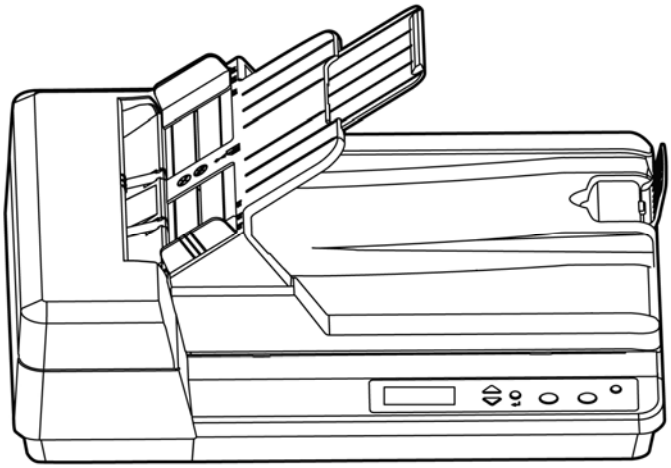
Avision

シートフィードスキャナ

ユーザーズマニュアル



Regulatory model: DF-1015S/DF-1004S

Avision Inc.

商標

MicrosoftはMicrosoft Corporationの米国での登録商標です。
WindowsおよびWindows XP, Vista, 7 はMicrosoft Corporationの商標です。
IBM、IBM PCはInternational Business Machines Corpの登録商標です。
ENERGY STAR®はアメリカの登録商標です。
本マニュアルでのその他ブランドや製品名は各社の商標または登録商標です。

版権

全権保留。Avision Inc の書面による事前許可がない限り、電気的、機械的、磁気的、工学的、化学的、手書き又は他のいかなる方法でも当出版物の一部の複製、転送、転写、記憶装置への記憶、他国語またはコンピューター言語への翻訳はできません。

当製品によりスキャンされた内容は、国の法律やその他規制、例えば著作権法などで保護されている場合があります。ユーザーの皆様がそれら法律や規制を遵守する責任を有します。

保証

当マニュアルに含まれた内容は予告なしに変更される場合があります。

Avisionは本マニュアルの内容に関して、商品性および特定の目的に対する適合性を含む保証を、明示たると黙示たるとを問わず一切いたしません。

Avisionは当マニュアルの誤りや、本書の設置、操作、使用に関連した偶発的または因果関係による損失に関する責任は負いかねます。

FCC 無線周波数干渉通知

本機器は、無線周波エネルギーを生成、使用および放射します。製造元の取扱説明書に従わずにインストールおよび使用した場合、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因になります。本機器は、テストの結果 FCC 規則 15 上に順ずる Class B デジタル デバイスの制限にしたがっていることが認められています。 これらの制限は、本機器が居住地域においてインストールされた時に、有害な干渉に対する適切な保護を提供するためのものです。ただし、特別なインストールを行った場合、有害な干渉の原因にならないことは保証できません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因かどうかは、本機器をオンとオフに切り替えることにより確認することができます。本機器が原因の場合、次の方法をいくつかお試しになり、干渉を修正するようお勧めします:

– 受信アンテナの方向や位置を変える。
– 本機器と受信機の位置間隔を変える。
– 本機器を受信機が接続されている回線とは別のコンセントに接続する。

必要な場合、販売元又は熟練したラジオ/テレビ技師にお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ENERGY STAR® のパートナー企業として、Avision Incは本製品をエネルギー効率に関するENERGY STAR®のガイドラインに準拠させています。

欧州連合規定の通知

CEマークを有する製品は、以下のEU指示に準拠しています。

- 低電圧指示2006/95/EC
- EMC指示2004/108/EC

Avisionが提供するCEマーク付きACアダプターを電源とする場合、この製品は正しくCEに準拠します。

この製品はEN55022、EN55024のClass B限界、およびEN60950による安全要求条件を満たしています。

個人ユーザによる使用済み機器の廃棄について

製品またはその梱包物にこのマークがある場合、当該製品をお客様の家庭廃棄物と一緒に廃棄することはできません。健康や環境保護のために、リカバリやリサイクルの際には専門施設に当該製品をお送り下さい。使用済み機器をリサイクルする場合の廃棄場所に関する詳しい情報は、お住まい地域の市役所や家庭廃棄物処理業者、または製品の購入店にご相談下さい。

システム要件

- IBM互換PC Pentium III 600またはそれ以上
- Microsoft Windows XP(SP3)/Vista
- USBポート(USB 2.0カードでのみ高速度をサポート) (USB 1.1 互換)
- 最低100MBのハードディスク空き容量
- 最低128 MBのシステムメモリ
- CD-ROMドライブ1台
-

目 次

1. 製品紹介 1-1

2. スキャナーのインストール 2-1

2.1 スキャナドライバと接続ケーブルのインストール..... 2-2

3. 初めてのスキャンを行う 3-1

3.2 ガラスボードの用紙を位置合わせする 3-3
3.3 スキャナのインストールの確認 3-4
3.4 ユーザインタフェースの一覧 3-8

4. [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスの使い方 4-1

4.1 [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスのボタン 4-2
4.2 画像タブ 4-4
4.3 圧縮タブ 4-22
4.4 ドロップアウト カラー タブ 4-24
4.5 用紙タブ 4-28
4.6 マルチフィード検出 4-37
4.7 プレビュータブ 4-44
4.8 オプション タブ 4-45
4.9 設定タブ 4-52
4.10 インプリンタのタブ 4-54
4.11 情報タブ 4-58

5. ISISインタフェース操作 5-1

6. スキャナ ボタンの使い方..... 6-1

6.1 ボタンマネージャのインストール 6-1
6.2 スキャン前のボタン設定の確認 6-2
6.3 ボタンワンタッチからのスキャン実行..... 6-4

7. ネットワーク スキャナとして本製品を利用する 7-1

7.1 LANケーブルを接続する..... 7-1
7.2 Button Manager V2でスキャナを接続する 7-2
7.3 文書をスキャンする..... 7-4
7.4 デフォルトの機能番号と定義済みタスクでの Button Managerの使用 7-6
7.5 ソフトウェアアプリケーションに画像を直接挿入...7-10
7.6 画像テキストを変換し、ソフトウェアアプリケーションにテキストを挿入.....7-11
7.7 スキャンした画像をネットワークサーバーにアップロード 7-12
7.8 ネットワークスキャナのIPアドレスの変更.....7-14

8. スキャン画像をUSBドライブに保存する 8-1

8.1 USBフラッシュドライブの接続..... 8-1
8.2 インスタント・スキャンの開始..... 8-2
8.3 メニューマップの表示..... 8-5
8.4 スキャンサイズの変更..... 8-9

9. 保守&お手入れ..... 9-1

9.1 ガラスをクリーニングする 9-1
9.2 ADFのクリーンニング 9-2
9.3 ADF取外し可能パケットモジュールの交換 9-5
9.4 ADFローラーの交換..... 9-6

10. トラブルシューティング 10-1

10.1 スキャン画像の異常線を除去する 10-1
10.2 紙詰まりを除去する 10-2
10.3 よくある質問 10-4
10.4 テクニカルサービス 10-6

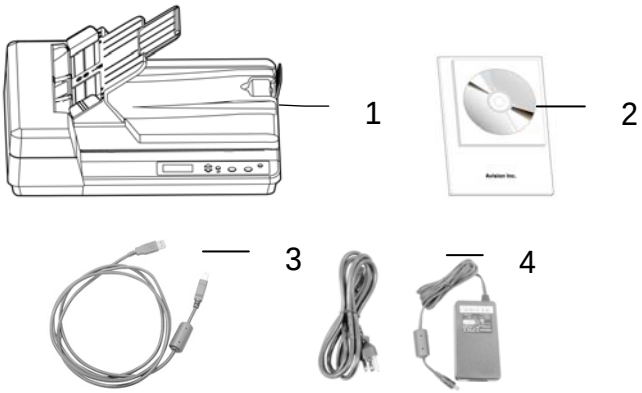
11. 製品仕様 11-1

索引..... a

1. 製品紹介

この度は、をご購入頂きまして誠に有難うございます。Avisionは、高品質スキャナ製造業をリードする企業です。

スキャナの最適性能を保証するためにも、新しいスキャナをインストール・操作する前に、本マニュアルをよくお読みください。本マニュアルでは、パッケージの開梱、インストール、操作、及びスキャナの適切なメンテナンス方法についてご説明します。次ページのは、スキャナの梱包方法を示しています。全べての品目が揃っているか、確認してください。



1. スキャナ本体
2. ユーザーズマニュアル/CD
3. USBケーブル
4. 電源コード/電源アダプター

ご注意:

1. 当装置に同梱のACアダプタ(HEG42-240200-7L/HiTron, DA-48M24/APD) のみをご使用ください。他のACアダプタの使用は装置の故障の原因となりますし、保証事項が無効となります。
2. パッケージを丁寧に開封し、チェックリストに従って品目をチェックしてください。欠けていたり故障しているものがあれば、すぐ販売店に御連絡ください。

2. スキャナーのインストール

ご注意

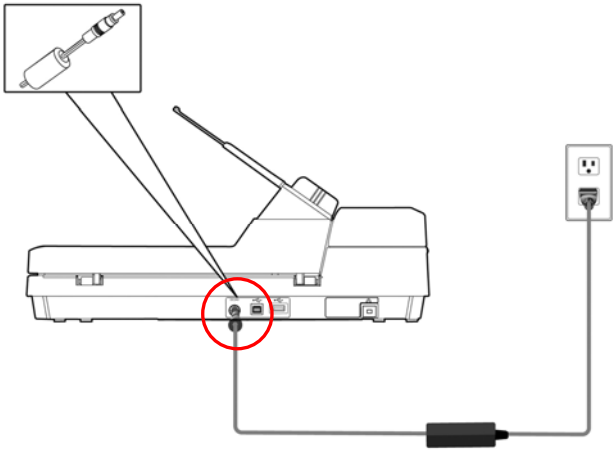
- スキャナーを直射日光にさらさないでください。直射日光または高熱にさらすとユニットの故障の原因となります。
- スキャナーを湿気または埃の多い場所に置かないでください。
- 適切なAC電源をご使用ください。
- スキャナーは水平でなめらかな面に置いてください。傾斜や凹凸のある面では機械や給紙の問題が生じる可能性があります。
- スキャナーの箱および包装材料は後での梱包用に保存して置いてください。

2.1 スキャナドライバと接続ケーブルのインストール

スキャナーの電源がオフになっていることを確認してください。

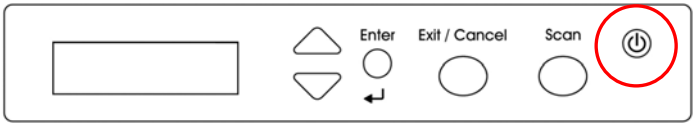
2.1.1 電源の接続

電源アダプタの小さなプラグをスキャナーの電源ジャックに差します。他端は適切な電源コンセントに差します。



2.1.2 電源の投入

スキャナの電源を入れるには、正面の電源スイッチを押してください。電源LEDが点灯します。スキャナの電源を切るには、電源スイッチを約3秒間押し、電源LEDが消えるまで待ちます。



2.1.3 スキャナドライバのインストール

ご注意:
スキャナドライバにはTWAIN、ISIS、WIAドライバが含まれます。Windows Me、Windows XP、またはWindows Vistaを実行している場合、スキャナドライバのインストールが完了した後に、このスキャナではTWAIN、ISISまたはWIA経由でスキャンを行うことができます。 TWAIN準拠の画像編集ソフトウェアアプリケーションを起動して、TWAINまたはWIAユーザーインターフェースまたはISISソフトウェアを選択して、ISISユーザーインターフェースを選択します。 Microsoftのスキャナとカメラウィザードを起動して、WIAユーザーインターフェース経由でスキャンすることもできます。

1. 付属のCDをご使用のCD-ROMドライブに入れます。下図のようなインストールメニューが表示されます。
2. “Install Scanner Driver (ドライバのインストール)”をクリックしてTWAINまたはドライバをインストールします。
3. スクリーン上の指示に従って各アプリケーションをインストールしてください。

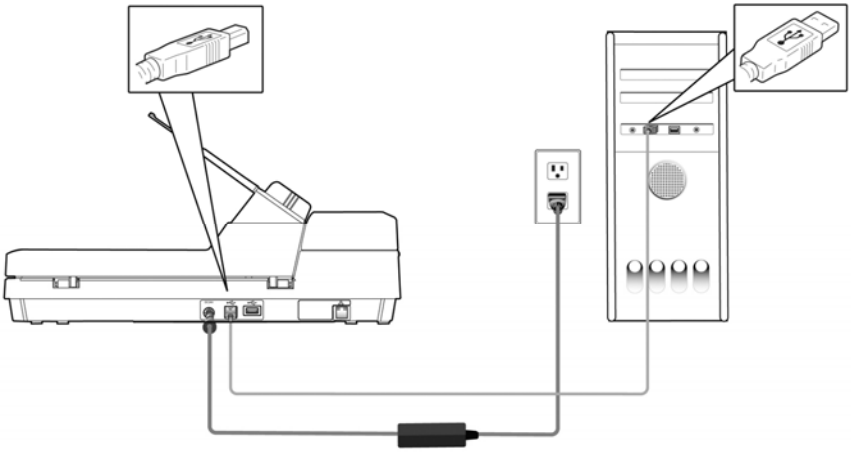
インストールグラフィックのコンテンツ:

- **ボタンマネージャのインストール**: スキャナのボタンを使うには、ボタンマネージャをインストールする必要があります。ボタンマネージャが正しく作動するため、まずスキャナドライバをインストールする前に、ボタンマネージャをインストールしてください。
- **スキャナドライバのインストール:** スキャナとの通信を行うには、スキャナドライバをインストールする必要があります。ボタンマネージャソフトウェアをインストールした後、**[スキャナドライバのインストール]** をクリックし、コンピュータにスキャナドライバをインストールします。
- **Adobe Reader のインストール:** スキャナとボタンマネージャの PDF 版ユーザーズマニュアルをご覧になるには、Adobe Reader が必要になります。Adobe Reader がすでにコンピュータにインストールされている場合はそのまま進んでください。
- **マニュアルの表示: [マニュアルの表示]** をクリックし、スキャナまたボタンマネージャのユーザーズマニュアルを表示したり、印刷したりできます。

4. **[ボタンマネージャのインストール]** をクリックしてボタンマネージャをインストールし、**[スキャナドライバのインストール]** をクリックしてコンピュータにスキャナドライバをインストー ルします。

2.1.4 コンピュータへの接続

1. USBケーブルの**正方形型の端子**をスキャナーのUSBポートに接続します。**長方形型の端子**はご使用のコンピュータのUSBポートに接続します。



2. コンピュータはこのUSB装置を検出して “New Hardware Found (新しいハードウェアが検出されました)”というメッセージを表示するはずです。
3. Windows XPでは、**Next(次へ)**のボタンをクリックして続けます。
   処理中にWindows XP認証画面が表示されます。この内容は無視して **“Continue Anyway (かまわず続ける)”**を選択してインストールを続けます。

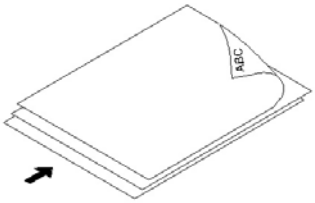
   Windows Vistaでは、「**推奨する(Recommended)**」オプションをクリックし、「**継続する(Continue)**」ボタンをクリックしてインストールを終了します。
4. **Finish (完了)**ダイアログボックスが表示される時、**Finish (完了)**ボタンをクリックします。

3. 初めてのスキャンを行う

3.1.1 ADFペーパートレイへの文書のセット

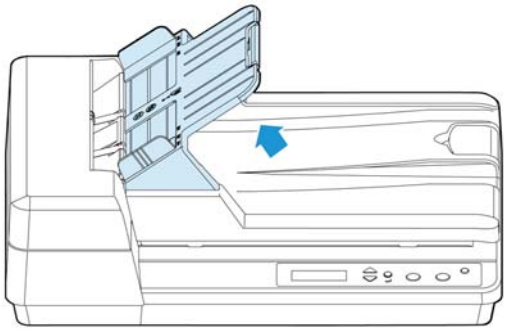
文書をさばく

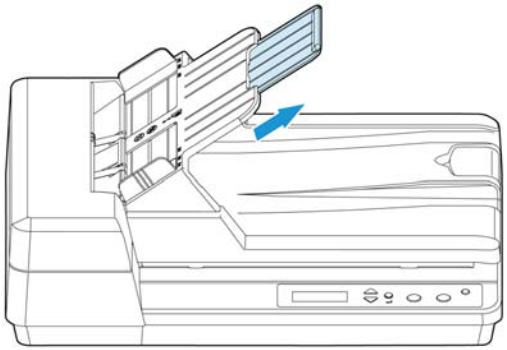
標準規格の紙がスキャナーに通しやすいです。複数の文書を自動給紙する場合は、紙詰まり防止のため、セットする前にさばいて紙離れを良くしてください。



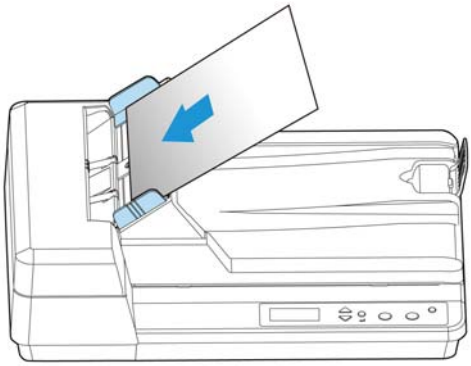
文書の紙送り

1. ADF(自動給紙装置)の給紙トレイを約45度くらい持ち上げ、延長トレイを引き出します。



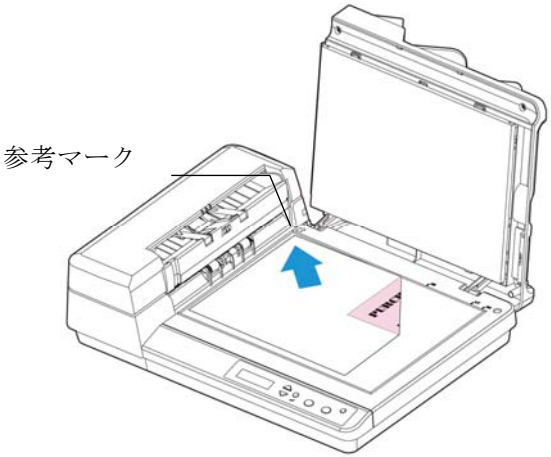


2. ドキュメントを文字のある面を上に向けて置き、下図のようにページの端を給紙装置に合わせます。ペーパーガイドでドキュメントを中心に合わせ、ドキュメントがペーパーガイドに沿っていることを確認してください。ADFペーパートレイに一度にセット可能な枚数は最大 50枚(20 lbs)であることにご注意ください。



3.2 ガラスボードの用紙を位置合わせする

表示マークにドキュメントを位置合わせしてください。



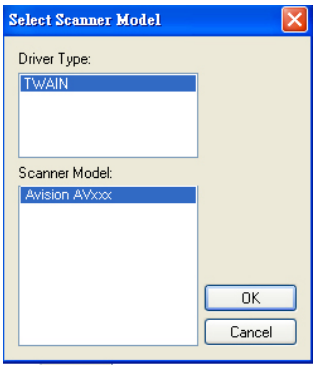
3.3 スキャナのインストールの確認

スキャナが正しくインストールされたかどうかを確認するため、Avisionでは Avision Capture Tool という便利なツールをご用意しています。このツールを使い、簡単なスキャンを実行し、取り込まれた画像を確認できます。また、指定速度でスキャンを実行することができます。

以下の手順でスキャナのインストールを確認してください。インストールが正しく行われていない場合は、前章をご覧になり、ケーブル接続やスキャナドライバのインストールについてご確認ください。

スキャナの電源を入れてください。

1. [スタート] – [プログラム] – [Avision AVxxx Scanner] – [Avision Capture Tool] を選択します。
   [スキャナモデルの選択] のダイアログボックスが表示されます。



2. ドライバタイプとスキャナモデルを選択し、[OK] をクリックします。以下の Avision Capture Tool のダイアログボックスが表示されます。

3. ファイル形式のドロップダウンリストから、ファイル形式を選択します (既定値は BMP ですが、TIFF、GIF、JPEG などからも選択できます)。

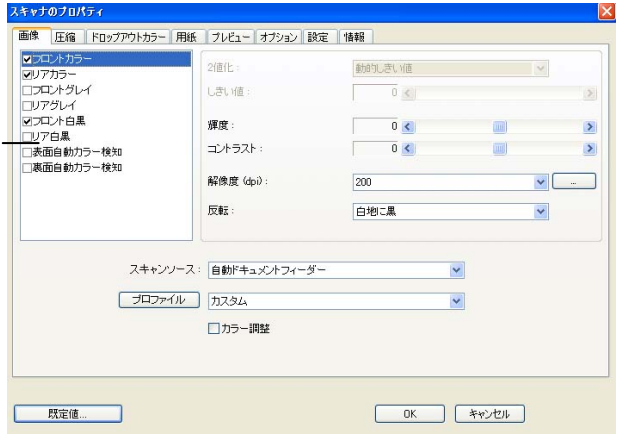
4. ファイルパスの欄に任意のフォルダ名とファイル名を入力してください (既定値は C:\My Scan\Image です)。

メモ: スキャンした画像を保存しない場合は、[保存] ボタンの選択を解除してください (既定では有効になっています)。保存を解除すると、サムネイル表示ができなくなります。このため、スキャンしたすべての画像を表示した後、最後の画像が画面に表示されたままとなります。

5. セットアップボタン (

) をクリックするか、または [ファイル] メニューから [セットアップ] を選択し、[スキャナのプロパティ] ダイアログボックスを表示してください。

画像選択欄



6. 画像選択欄でスキャンした画像の種類を選択してください。(既定値はフロント B&W です)。両面スキャナをお持ちの場合、フロントとリアの両方を選択し、ドキュメントの両面をスキャンすることもできます。

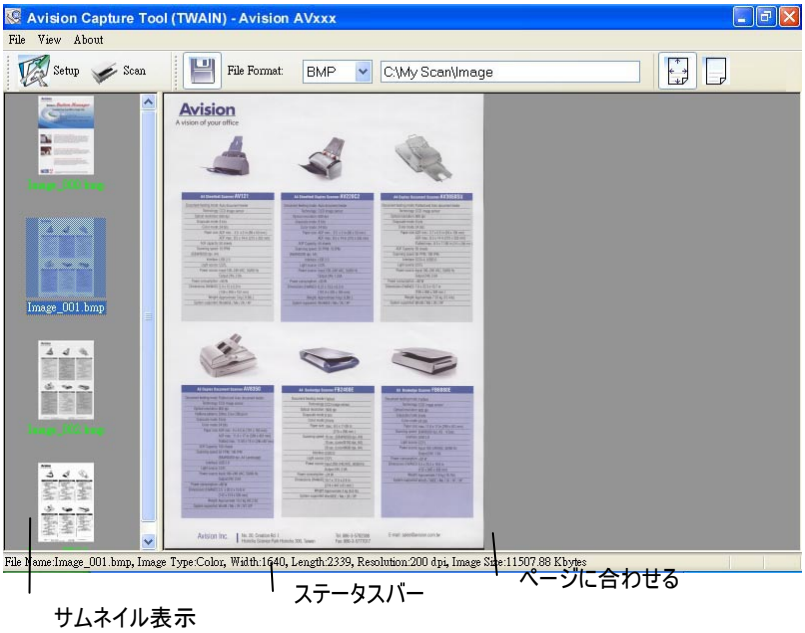
7. [OK] ボタンをクリックして、[スキャナのプロパティ] ダイアログボックスを終了します。([スキャナのプロパティ] ダイアログボックスに関する詳細は、「スキャナのプロパティダイアログボックスを使用する」の章をご覧ください。)

8. ADF に文書の表を上にして、またはガラス面に向けて置いてください。

9. [スキャン確認] のダイアログボックスで、[スキャン] ボタン (

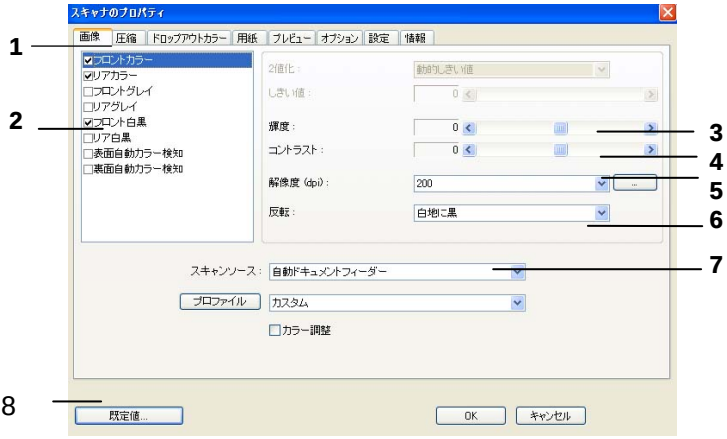
) をクリックするか、または [ファイル] メニューから [スキャン] を選択してください。

10. 文書がスキャンされ、[スキャン確認] 画面に表示されます。スキャンされた画像が表示されると、スキャナのインストールの確認は完了です。



11. スキャンされた、右側の表示ツールバーを押し、ページに合わせて ( ) 、または実物大(100%) ( ) で表示することができます。
12. [ファイル] メニューから [閉じる] または [終了] をクリックし、Avision Capture Tool を終了します。

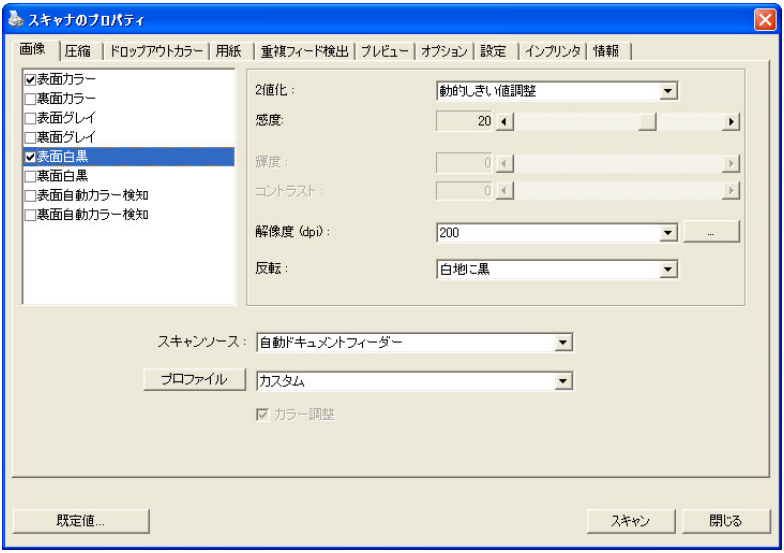
3.4 ユーザインタフェースの一覧



1. タブオプション	**選択：画像、圧縮、カラードロップアウト、用紙、用紙重送検知、プレビュー、オプション、設定、情報。**
2. 画像タイプ	画像タイプとスキャンしたい面を選択します。
3. 輝度	輝度レベルを-100～+100 調節します。
4. コントラスト	コントラストレベルを-100～+100 調節します。
5. 解像度	スキャンされた画像の品質を決めます。工業規格は200dpi です。
6. 反転	スキャンされた画像の色を反転します。
7. スキャンソース	**オプション:** 自動原稿送り装置(Auto Document Feeder)、フラットベッド、自動(スキャンナーモデルにより異なります。)
8. デフォルト値	タブ上の全ての値を工場出荷時のデフォルト値にリセットする。

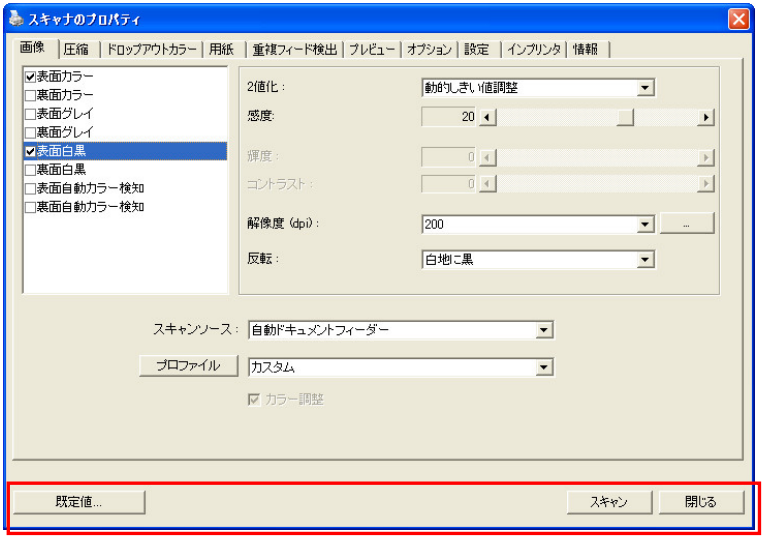
4. [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスの使い方

[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスでは、スキャナの様々な設定を行うことができます。この章では、このダイアログ ボックスに含まれる各タブ付ウィンドウについて説明しています。



[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックス

4.1 [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスのボタン



[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスのボタン

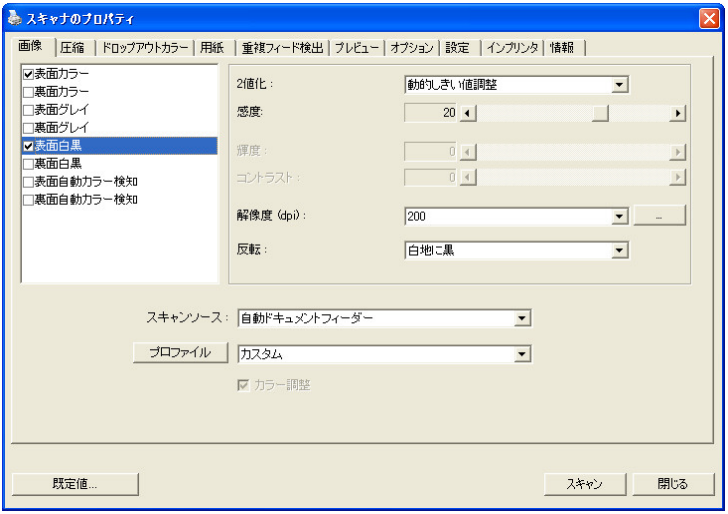
ボタン	説明
既定値	**[既定値]** ボタンをクリックすると、各タブで工場出荷時の既定値が表示されます。
スキャン	スキャン設定が完了したら、**[スキャン]** ボタンをクリックし、ドキュメントのスキャンを開始します。
閉じる	[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスを終了するときは、**[閉じる]** ボタンをクリックします。

下の表に既定値を示します:

タブの名前	既定値
画像	画像:前面白黒 2 値化:動的しきい値 解像度:200 dpi 反転:白地に黒 スキャン ソース:自動ドキュメントフィーダー しきい値:なし 輝度:なし コントラスト:なし
圧縮	なし
ドロップアウト カラー	なし
用紙	切り抜き:自動 傾き補正:あり 方向:垂直 オーバースキャン:0.00 マルチフィード検出:なし 単位:インチ
オプション	回転角度:なし 白紙ページの削除:なし エッジフィル:白、0 mm 画像コントロール オプション:なし
設定	省電力設定: 有効、最後のスキャンから 15 分後 スキャン過程を表示:はい 警告メッセージを表示:はい 閉じた後設定を保存:はい

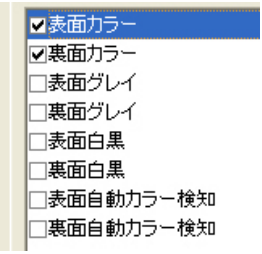
4.2 画像タブ

[画像] タブでは、ドキュメントの表面または裏面、画像タイプなどを選択し、様々なスキャンの基本設定を行うことができます。解像度を除き、表面と裏面のスキャン設定は別々に行うことができます。タブ別に見ると、[画像] タブ、[圧縮] タブ、[ドロップアウト カラー] タブのすべての設定は、表面と裏面で別々な設定が可能です。 一方、[用紙] タブ、[オプション] タブ、および [設定] タブは、表面と裏面が一致している必要があります。



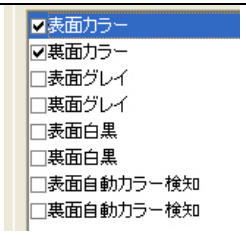
[画像] タブのダイアログ ボックス

4.2.1 画像選択ボックス

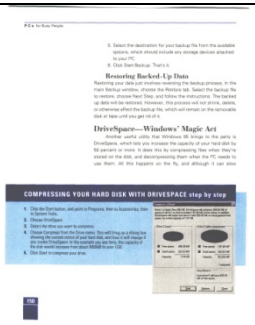


[画像選択] ボックスには、画像タイプとドキュメント表面/裏面オプションが含まれます。カラー ドキュメントの表面と裏面の両方をスキャンする場合は、[表面カラー] と [裏面カラー] の両方をチェックしておきます。オプションはスキャナ タイプにより異なります。

例 1: 両面カラー ドキュメントの表面と裏面をカラー スキャン



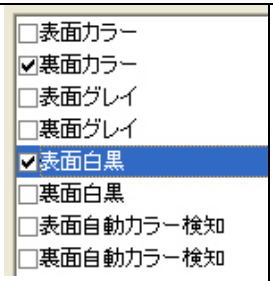
表面 / 裏面および画像選択



表面

裏面

例 2: 両面カラー ドキュメントを、片面を白黒 (ドロップカラー 青、しきい値 10、背景 79) でスキャンし、もう片面をカラーでスキャン

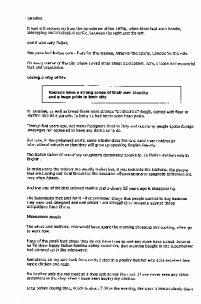


表面 / 裏面および画像選択

表面

裏面

画像タイプ	説明
カラー	カラー画像を本来の色でスキャンする場合は、[カラー] を選択します。
グレイ	原稿に灰色の影が含まれている場合、[グレイ] を選択します。
白黒	原稿に文字、鉛筆やペンによるスケッチのみが含まれる場合、[白黒] を選択します。



白黒

グレイ

カラー

表面 / 裏面自動カラー検知:

クリックすると、カラー文書をカラー画像モードで自動検出し、表裏両面のスキャンを実行します。文書がカラーの場合、スキャナは自動的にカラー画像として取り込みます。文書がカラーではない場合は、非カラーセクションのオプションから白黒またはグレイモードの出力を選択できます。このオプションは、原稿にカラーとそうでない物が混在する場合に便利です。

注意:「表面自動カラー検知」を選ぶと、裏面の画像モードは指定できません。また、その逆の設定についても同様です。

自動色検出の感度

主に白黒テキストで占められた少量の明色・淡色を含むドキュメントを、ファイルサイズ縮小のためにカラー画像として認識させたくない場合、バーを左に動かすことで感度値を下げ、これらの画像を白黒画像として検出させるようにできます。値の範囲は 1～30 で、デフォルト値は 20 です。

4.2.2 その他の画像オプション

2 値化

これはグレイスケールまたはカラー画像を白黒のみの2トーンの画像に変換するプロセスです。(注:2値化と呼びます) この変換には、いくつかの方法があります。**オプション:ダイナミック閾値、固定処理、ハーフトーン 1～5、誤差拡散。**

動的しきい値:[動的しきい値] を選択すると、スキャナは各ドキュメントを動的に評価し、高画質画像を生成するための最適なしきい値を決定します。これは、薄い文字、影のある背景、カラー背景などが混在する複数のドキュメントを 1 つの設定だけでスキャンする際に使用します。[動的しきい値] を選択すると、[しきい値]、[輝度]、[コントラスト] の設定はできなくなります。

動的閾値の感度
時おり、スキャン画像に小さい点や斑点が入ることがあります。これらの斑点を除去するには、バーを右方向に動かすことで感度値を上げます。値の範囲は 1～30 で、デフォルト値は 20 です。

固定処理:白黒やその他のコントラストの高いドキュメントに使用します。白か黒かを判断する移行点のレベルを設定します。しきい値は、濃度の全範囲で設定可能です。**[固定処理]** は、[コントラスト] を 0 に設定します。**[固定処理]** を選択した場合、[コントラスト] は変更できません。

ハーフトーン:白黒表示の他に、ハーフトーンでは異なるサイズのドットを使用することで画像をモノクロ階調にできます。ハーフトーン画像は、新聞で見る写真に似ています。**オプションにはハーフトーン 1、ハーフトーン 2、ハーフトーン 3、ハーフトーン 4、ハーフトーン 5 があります。**

誤差拡散:誤差拡散は、ハーフトーンの一種です。誤差拡散により優れた画像テクスチャが得られ、画像のテキストがハーフトーンより読みやすくなります。

ハーフトーン画像

誤差拡散画像

しきい値

グレイスケール画像を白黒2値の画像に変換するために使われます。0～255 の値で設定します。しきい値が低いと画像は明るくなり、背景や、分かりにくく不要な情報を抑えることができます。しきい値が高いと、画像は暗くなり、薄い画像をより鮮明にすることができます。
[しきい値] のスライドバーを左右にドラッグしてしきい値を調整し、希望のしきい値に設定します。

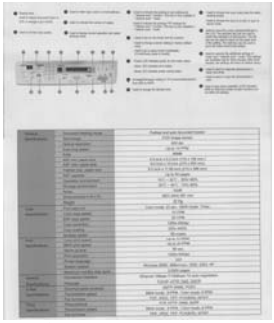
200 dpi、しきい値 50、輝度 0

200 dpi、しきい値 100、輝度 0

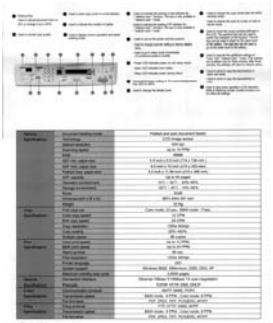
グレー:
ドキュメントタイプ: 選択肢: 標準、フォト、ドキュメント
スキャンしたドキュメント用の画像タイプとしてグレーを選択すると、ドキュメントタイプの 3 つのオプションが提供されます。選択肢: 標準、フォト、ドキュメント。

- **ドキュメント:** オリジナルドキュメントにテキストだけが含まれる場合や、テキストとグラフが含まれる場合は、ドキュメントを選択します。これは、通常のビジネスドキュメントに最適な設定です。ドキュメントを使う場合は、調整できるのはしきい値だけです。
- **フォト:** オリジナルドキュメントに写真が含まれる場合は、フォトを選択して、写真を鮮明なグレースケール画像で再生します。フォトを使う場合は、しきい値とコントラストは調整できません。
- **標準:** **標準**を使う場合は、しきい値、輝度、コントラストを調整できます。

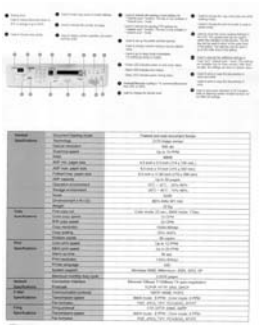
しきい値: 値の範囲は 0 ～ 255 です。デフォルトは 230 です。しきい値が低いと画像は明るくなります。これを使って、背景、微妙さ、不要な情報を抑制できます。しきい値が高いと画像は暗くなります。これを使って、フェイント画像をピックアップできます。しきい値設定を調整するには、**しきい値**スライドバーを左右にドラッグして、希望するしきい値にします。



標準



フォト



ドキュメント
(しきい値: 230)

標準

フォト

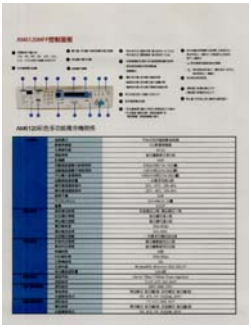
ドキュメント
(しきい値: 230)

輝度

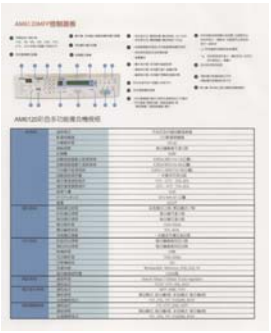
画像の明るさや暗さを調整します。値が高いほど画像は明るくなります。スライダーを左右にドラッグし、輝度を増加または減少してください。範囲は –100～+100 です。

コントラスト

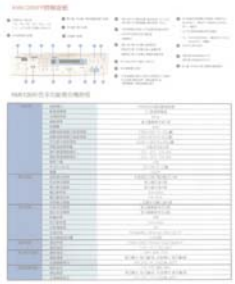
画像の暗い影と明るい影との間の範囲を調整します。コントラストが高いほど、グレイスケールの差は大きくなります。スライダーを左右にドラッグし、コントラストを増加または減少してください。範囲は –100～+100 です。



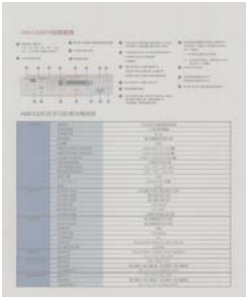
輝度 -50



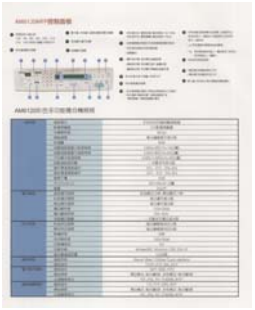
輝度 0 (正常)



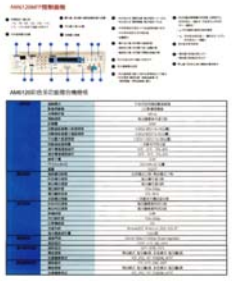
輝度 +50



コントラスト -50



コントラスト 0 (正常)



コントラスト +50

解像度

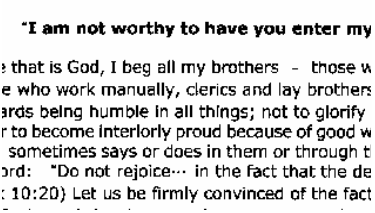
解像度のコントロールで、希望するレベルの鮮明さをもったスキャン画像になります。解像度は 1 インチ当たりのドット数 (dpi という単位)で示されます。通常、dpi の数値が高いほど解像度が高くなり、画像ファイル サイズも大きくなります。解像度が高いほど、スキャンには時間がかかり、スキャン画像が多くのディスク容量を必要とします。たとえば、A4 サイズのカラー画像を 300 dpi の True Color モードでスキャンすると、約 25 MB のディスク容量を必要とします。高解像度 (通常は 600 dpi 以上を指します) は、小さな範囲を True Color モードでスキャンする場合にのみ推奨します。

ドロップダウン リストから解像度を選択してください。既定値は 200 dpi です。利用可能な解像度は 75、100、150、200、300、400、600 となっています。また、ドロップダウン リストの右側にあるボックスをクリックして任意の値を選択し、矢印キーを押して希望の値を選択し、[追加] ボタンをクリックすると、この値をドロップダウン リストに加えることができます。ロップダウン リストに加えることができます。メモ:インプリンターまたは MICR リーダーがスキャナに接続されている場合、解像度は最高でも 300 dpi までです。

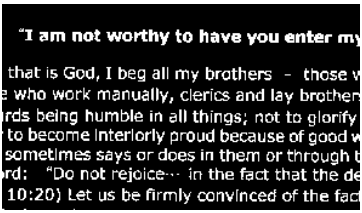
解像度 75 dpi

解像度 150 dpi

反転　画像の輝度と色を反転させる機能です。既定値は [白地に黒] です。反転モードは、[黒字に白] となります。カラー画像については、[反転] コマンドにより各ピクセルが補色に変換されます。



白地に黒



黒地に白

スキャン ソース

オプション:

- **自動ドキュメント フィーダー:**複数ページをスキャンする場合に使用します。
- **フラットベッド:**1 枚の用紙のみをスキャンするときに使用します。例えば、新聞の切り抜き、しわやよじれのない用紙などです。
- **フラットベッド (ブックエッジ型):** 本の中の数ページをスキャンする場合に使用します。
- **自動:** スキャナが自動的にスキャン ソースを設定します。**[自動]** が選択されており、自動ドキュメントフィーダー (ADF) とフラットベッドの両方にドキュメントがある場合、スキャン ソースは自動的に ADF に設定されます。**[自動]** が選択されており、フラットベッドにのみドキュメントがある場合、スキャン ソースはフラットベッドに設定されます。
- **両面から 1 枚の画像に合成:**
  フロント入力トレイのあるシートフィード両面スキャナの場合、A3 サイズの原稿を画期的な方法でスキャンできます。この際、A3 サイズの原稿を 2 つに折って A4 サイズにし、フロントトレイから入れます。「スキャン原稿」オプションから「両面から合成」を指定すると、スキャナは原稿の両面をスキャンしてから 2 枚の A4 画像を 1 枚の A3 画像に合成します。

  ご注意:「両面から 1 枚の画像に合成」を選ぶと、「切り取り」および「マルチフィード」機能はオフになります。

オプションはスキャナ タイプにより異なります。

カラーマッチング

カラーマッチングの目的は、正確な色を取得することです。このオプションは、デフォルトのパラメーター(ICC プロファイル)を使用して、画像の色を調整します。

選択肢:なし、文書、写真

- **なし:**「なし」を選択して、この機能を無効にします。
- **文書:**元のコンテンツに純粋なテキストかテキストとグラフィックの混合物が含まれている場合、通常のビジネス文書に最適な設定である「文書」を選択します。
- **写真:**元のコンテンツに写真が含まれている場合、写真を鮮やかな色で再現するために「写真」を選択します。

通常

カラーマッチングの後

4.2.3 カラー画像のスキャン

カラー画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。

- 輝度
- コントラスト
- 解像度
- 反転

4.2.4 グレイスケール画像のスキャン

グレイスケール画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。

- 輝度
- コントラスト
- 解像度
- 反転

4.2.5 白黒画像のスキャン

白黒画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。

- 2 値化 (動的しきい値)
- 解像度
- 反転

または

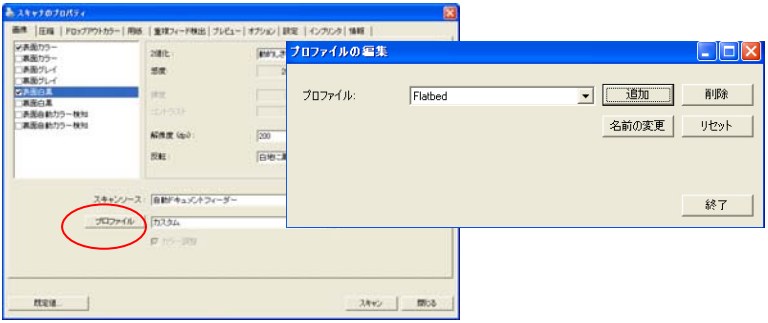
- 2 値化 (固定処理)
- しきい値
- 輝度
- 解像度
- 反転

4.2.6 プロファイルの編集

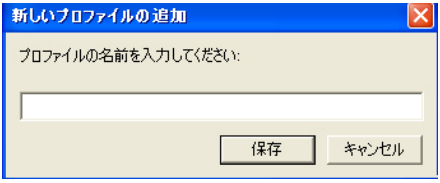
[スキャナのプロパティ]のダイアログボックスで、よく使用するスキャン設定を保存や、変更ができます。 このプロファイルは、名前を変更したり、削除するなどして編集できます。

新規プロファイルを追加するには、以下の要領で行います。

1. 設定をカスタマイズします。(たとえば、解像度、ファイル形式、クロップ方法、スキャンサイズ、その他のスキャン設定などを変更します。)
2. [イメージ] タブをクリックし、[プロファイル] を選択します。[プロファイルの編集] ダイアログボックスが表示されます。



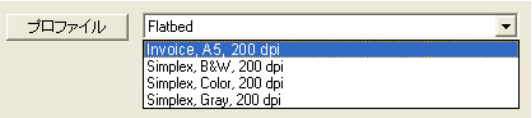
3. [追加] をクリックしてプロファイルの名前を入入力し、[保存] を選択します。



4. 新しいプロファイルが保存され、[プロファイル] のドロップダウンリストに表示されます。

プロファイルの読み込み方法:

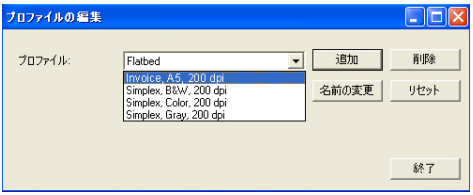
1. [イメージ] タブで、[プロファイル] のドロップダウンリストから、お気に入りのプロファイルを選択します。



2. お気に入りのプロファイルがすぐに読み込まれ、[スキャナのプロパティ] のダイアログボックスに表示されます。

プロファイルの削除は、次の要領で行います。

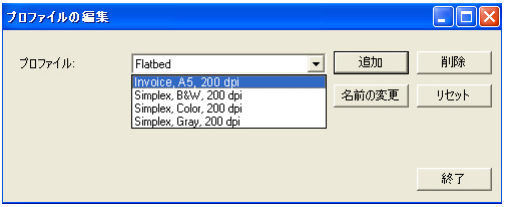
1. [イメージ] タブから [プロファイル] を選択し、[プロファイルの編集] ダイアログボックスを表示します。
2. ドロップダウンリストから削除するプロファイルを選択します。



3. [削除] をクリックします。"このアイテムを削除してよろしいですか?" という確認メッセージが表示されます。
4. [はい] をクリックして削除するか、または [キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

プロファイルの名前を変更するには、次の要領で行います。

1. [イメージ] タブから [プロファイル] を選択し、[プロファイルの編集] ダイアログボックスを表示します。
2. ドロップダウンリストから名前を変更するプロファイルを選択し、[名前の変更] をクリックします。



3. プロファイルの新しい名前を入力します。

4. [はい] をクリックして削除するか、または [キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

メモ:
あらかじめ定義されたプリセットプロファイルには、フラットベッド、片面-白黒/200 dpi、片面-グレイ/200 dpi、片面-カラー/200 dpi、両面-白黒/200 dpi、両面-グレイ/200 dpi、両面-カラー/200 dpi があります。もし、片面ないしシートフィードスキャナをつかう場合は、両面ととフラットベッドはご利用になれません。

4.3 圧縮タブ

[圧縮] タブでは、圧縮レベルを選択し、スキャンした画像を圧縮することができます。白黒2値画像は通常、[Group 4] (G4) と呼ばれる CCITT 標準で圧縮されます。カラーおよびグレイスケール画像は JPEG 技術で圧縮されます。**[JPEG 画質]** のスライドバーを左右に動かし、圧縮レベルを増加または減少します。圧縮レベルが大きいほど、画質は劣化します。既定値は 50% です。

圧縮は画像編集アプリケーションにより異なります。お使いの画像編集アプリケーションが対応していない圧縮形式については、警告メッセージが表示されるか、または圧縮ファイルの画質が利用できないものになります。

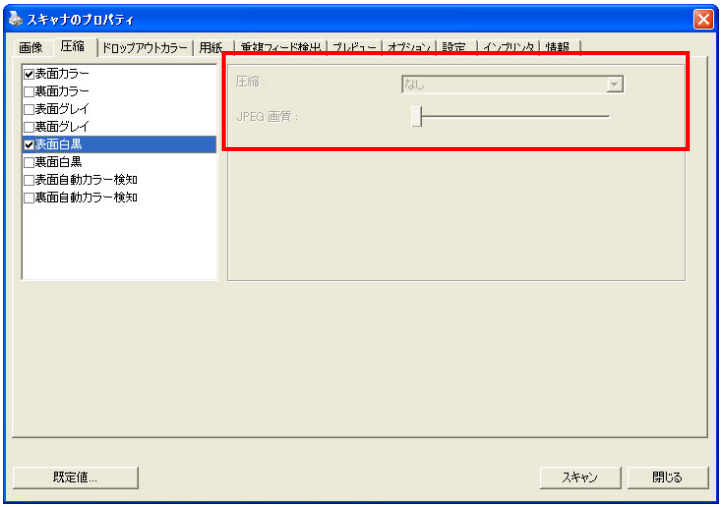
JPEG (Joint Photographic Editor Group)このグループは、スキャナやソフトウェア アプリケーションにより幅広く利用されているカラーおよびグレイスケール画像のためのファイル圧縮標準を開発しました。Microsoft Windows ベース システムでは、この方法で圧縮されたファイルに .jpg という拡張子が与えられます。

カラーまたはグレイスケール画像をスキャンする場合、次の圧縮を利用することができます。

- なし
- JPEG

白黒画像をスキャンする場合、次の圧縮を利用することができます。

- なし
- G4

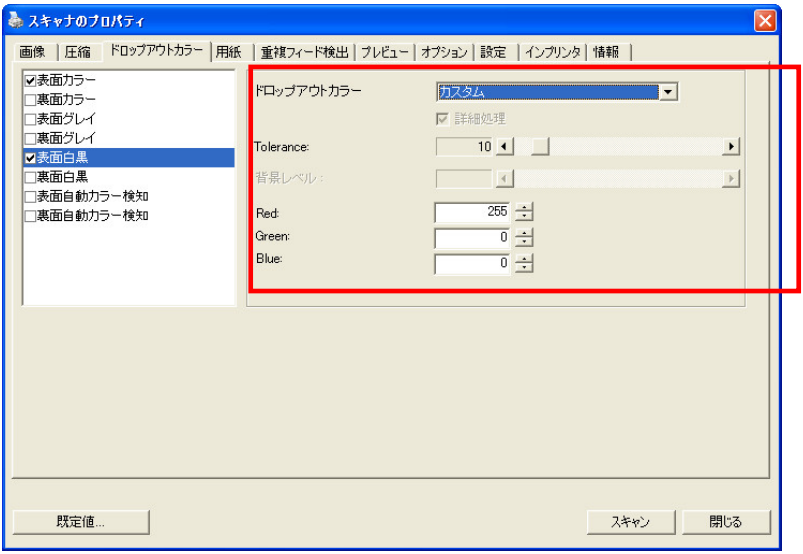


[圧縮] タブのダイアログ ボックス

4.4 ドロップアウト カラー タブ

4.4.1 ドロップアウト カラーの選択

[ドロップアウト カラー] タブでは、スキャンされた画像から赤、青、または緑をドロップします。画像に赤い透かしや背景が入っている場合、[R] (赤) チャンネルを選択すると、赤い透かしや背景が削除されます。この機能は、OCR (光学式文字読取認識) ソフトウェアを使って文字をシャープにするときなどに使用できます。



[ドロップアウト カラー] のダイアログ ボックス

カラードロップアウト

「カスタム」オプションでは、RGB(赤、緑、青)それぞれの値を入力することで、不要な色を除外するよう指定することができます。

許容範囲: 選択した不要な色を除外するため、許容できる色範囲を指定します。指定範囲: 1 ~ 100
数値が大きくなればなるほど、カラードロップアウトの範囲は拡大します。

この機能は、白黒画像とグレイスケール画像にのみ対応しています。このため、この機能を適用する際は、必ず白黒またはグレイスケールの画像タイプを選択してください。

4.4.2 その他のドロップアウト カラー オプション

[詳細処理] は、スキャンされた画像を最適な状態に調整するための 2 つのオプションを提供します。

フィルタしきい値 この値は、どの色をドロップするかを決定するために使用します。低い値は選択された色をよりドロップし、高い値は選択された色をより残します。

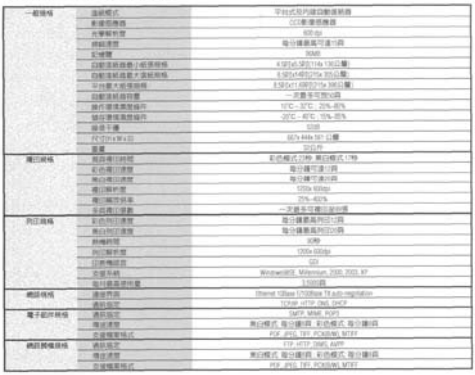
背景レベル 背景値よりも高いピクセルは、最も明るい点に合わせて調整されます。[フィルタしきい値] と [背景レベル] の両方の値を調整することで、最適な画質を得ることができます。

たとえば、背景レベルを多少調整すると、文字がより鮮明になります。

オリジナル原稿

AM6120彩色多功能複合機規格

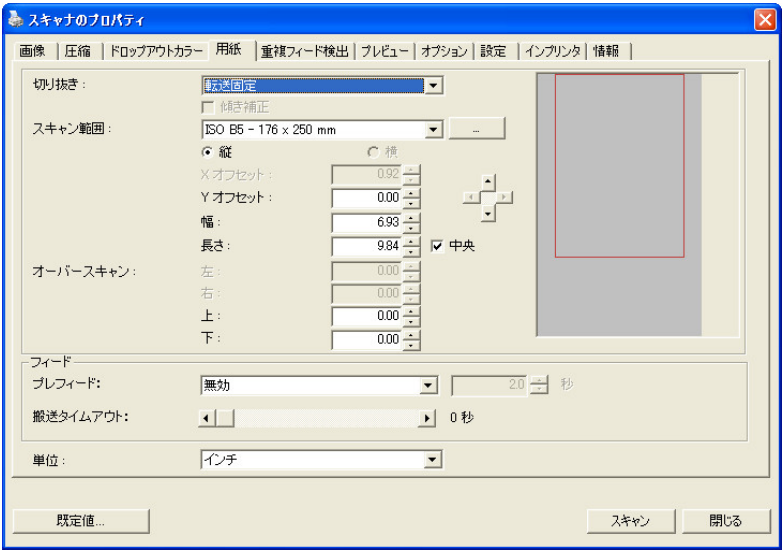
青を抜く、しきい値 **20**、背景 **255**


AM6120彩色多功能複合機規格

青を抜く、しきい値 **20,** 背景レベル **210**

4.5 用紙タブ

[用紙] タブでは、画像出力に関する値を定義します (自動的に切り抜くかどうか、スキャン範囲、オーバースキャン、マルチフィード検出など)。



[用紙] タブのダイアログ ボックス

4.5.1 切り抜き

[切り抜き] は、スキャンされたドキュメントの一部分をキャプチャします。**オプション: 自動、転送固定、ドキュメントに基づく, EOP (ページエンド) 検出, オート多重。**

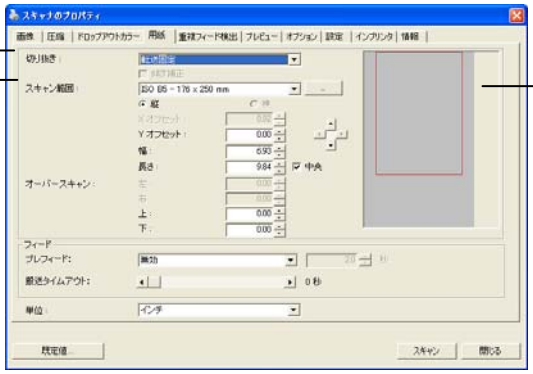
オプション	説明
自動	ドキュメントのサイズに合わせて、自動的に切り抜きウィンドウを調整します。このオプションは、サイズの異なるドキュメントを一括して扱う場合に使用します。
転送固定	この機能は、画像のある一定範囲またはゾーンを定義します。同じサイズのドキュメントを処理する際に使用します。このオプションを選択すると、矢印キーを使って X と Y のオフセット値、幅と長さを定義し、スキャン範囲を再指定することができます。[表示] ウィンドウは値を変更する際に、画像配置を表示します。
EOP (ページエンド) 検出	この機能は、画像のある一定範囲またはゾーンを定義します。同じ幅、異なる長さのドキュメントに使用します。このオプションを選択すると、矢印キーを使って X と Y のオフセット値、幅と長さを定義し、スキャン範囲を再指定することができます。[表示] ウィンドウは値を変更する際に、画像配置を表示します。

オート多重	このオプションにより、フォト、ID カードや名刺といった様々な大きさのドキュメントを平台(利用可能な場合)に置き、1 回のスキャンで複数の個別にクロップされた画像が作成できます。メモ: 多重画像を正しく作成するには、各ドキュメントの間のスペースを少なくとも 12mm(0.5 インチ)空けてください。
ドキュメントに基づく	このオプションは、ドキュメントの様々な部分を切り取り、白黒、グレイ、カラーなどで別々にイメージを取り込むことができます。たとえば、あるアプリケーションでは、ドキュメント全体を白黒で保存し、次にドキュメントの一部をカラーで保存する必要があるとします。このオプションは、写真が入ったドキュメントや、履歴書などのドキュメントで同じ場所に書かれた署名を処理する場合などに便利です。

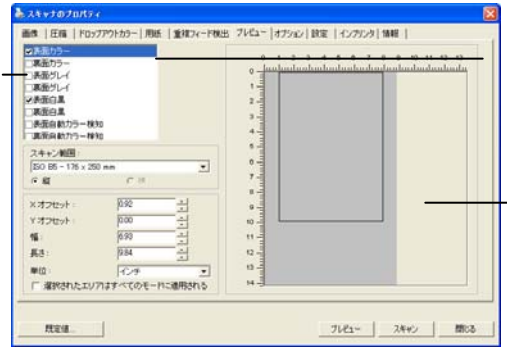
ドキュメントに基づく:(同サイズのドキュメントの一括処理に使用)
このオプションは、ドキュメントの様々な部分を切り取り、白黒、グレイ、カラーなどで別々にイメージを取り込むことができます。たとえば、あるアプリケーションでは、ドキュメント全体を白黒で保存し、次にドキュメントの一部をカラーで保存する必要があるとします。このオプションは、写真が入ったドキュメントや、履歴書などのドキュメントで同じ場所に書かれた署名を処理する場合などに便利です。

以下の手順では、ドキュメント全体を白黒で、ドキュメントの一部をカラーで処理する方法について説明しています。

1. [用紙] タブで、[クロップ] オプションから [ドキュメントに基づく] または [固定転送] を選択します。
2. [スキャン範囲] から、スキャンサイズを選択します。選択されたスキャンサイズが赤い四角い枠線で表示されます。これは、ドキュメント全体のスキャンサイズでもあります。(例: ISO A5.別のスキャン範囲を選択せず、選択を [なし] にすると、既定の範囲がスキャナの最大範囲になります。)



3. [プレビュー] タブをクリックし、[プレビュー] ウィンドウを表示します。黒い四角い枠線が表示され、さきほど選択した最大スキャンサイズを示します。



4. [プレビュー] ボタンをクリックすると、低解像度でイメージ全体が表示されますので、スキャン範囲が正しくクロップされているかどうかを確認できます。

5. [イメージ選択] ボックスからイメージタイプを選択します。選択されたイメージがハイライトカラーで表示されます。(例: 表面カラーなど)

6. カーソルを [プレビュー] ウィンドウに置き、マウスの左ボタンをクリックします。図のようなプラス記号が表示されます。マウスの左ボタンをドラッグしながら希望のサイズを決め、スキャンサイズを設定します。選択された範囲は、図のように赤い枠線で表示されます。

7. イメージ選択ボックスから白黒イメージをチェックすると、ドキュメント全体をスキャンできます。
8. [スキャン] ボタンをクリックし、2 種類のイメージタイプとサイズでドキュメントのスキャンを開始します。(以下はスキャン結果です。)

convenient to the rest rooms and the exits.

"Maybe the time has come to face facts," Dr. Dunn told me after the service. "We have six churches in about three square miles, and you could barely fill any one of them with all six congregations put together. Some say the church itself is dead," he sighed. "The young think it's unnecessary and serves no psychological purpose."

IN CHURCH Scots sing thanks "for minds that find new thoughts, new wonders to express," and some think the Scottish genius for invention has its roots in Scottish Presbyterianism and its emphasis on the individual's unmediated relationship with God. (A case in point was Charles Piazzi Smyth, Astronomer Royal of Scotland, who is said to have ordered the construction of a camera strong enough to record the Day of Judgment.)

Edinburgh's Royal Museum of Scotland holds the trophy room of Scottish ingenuity, case after case of the inventions and refinements that tumbled out of the model-makers' shops of Aberdeen, Dundee, Glasgow, and Edinburgh. There are scores of telescopes and microscopes, a 1780 "electrical machine," a prototype of the seismograph, a "dendrometer" for calculating the extractable lumber from standing trees, and hundreds of other devices to satisfy the Scottish penchant for quantifying the world.

Recalling such thinkers as inventor James Watt and bridge designers Thomas Telford and John Rennie, I wondered how Scotland might relate its engineering genius to high technology. In a glittering strip between Glasgow and Edinburgh called Silicon Glen, multinational computer companies have built a colony of assembly plants. Typical of them is Sun Microsystems' glass-and-steel facility in Linlithgow that appears to have been airlifted directly from Silicon Valley. It employs 600 people, 450 of whom are Scots.

But high technology's roots do not go deep into Scottish soil. Despite Scottish universities' internationally recognized computer science departments, there is little research and development going on. Nick Shelness is an English-born Lotus software executive who grew up in the United States, married a Scot, and now works via his modem out of a mill house in Perthshire. He says Scotland is thwarted by a lack of the serendipitous money that circulates in the U.S. "There was a lot of that sort of money in Glasgow at the turn of the century—the kind of dynamism you still find on the West Coast of the U.S. But you never feel it here." Nick thinks Scotland has been victimized by the U.K.'s mania for concentrating business in major hubs. "In Scotland head offices all get sucked down to London out of this ridiculous urge to be near the throne."

NOWHERE IN THE U.K. is much farther from the throne than the isle of North Uist, in the Outer Hebrides, where you don't have to look for an octogenarian to find a witness to the changes this century has wrought. Cathy Johnson is only 35, but as a North Uist fisherman's daughter she remembers when boats and ferries were all that stitched together the isles of her perforated homeland. She saw telephones and electricity come, and roads and cars, and hot water and

Fiendish "Scot's Maiden," the seventh hole at the isle of Islay's Machrie links, challenger with rough at tall as a man. "Official Loch Ness Monster Exhibition" at Drumnadrochit features a floating fiberglass Nessie.

ドキュメント全体を白黒で

選択範囲のみをカラーで

以下のオプションは、**[転送固定]** が選択されている場合のみ有効です。

- **X オフセット** — スキャナの左端からスキャン範囲の左端までの距離です。
- **Y オフセット** — スキャナの右端からスキャン範囲の右端までの距離です。
- **幅** — スキャン範囲の幅です。
- **長さ** — スキャン範囲の長さです。
- **中央:**中央に置かれたフィーディングの X オフセットを、選択されたドキュメント サイズに合わせて自動的に計算します。
- — スキャン範囲は、スキャン範囲を維持しながら、矢印キーを使用して動かすことができます。結果は [表示] ウィンドウで確認できます。

4.5.2 その他用紙選択

傾き補正

このオプションを使用すると、ドキュメントの傾きを自動的に補正します。

メモ: 傾きの角度が大きすぎる場合、一部の画像は切り取られることがあります。

スキャン範囲

ドロップダウン リストから希望の用紙サイズを選択します。または、**[スキャン範囲]** ボックスをクリックし、**[追加]** をクリックして、これをオプション内に追加します。

オプション:なし、レター- 8.5”x 11”、リーガル – 8.5” x 14”、ISO A4 – 21 x 29.7 cm、ISO A5 – 14.8 x 21 cm、ISO A6 – 10.5 x 14.8cm、ISO A7 – 7.4 x 10/5 cm、ISO B5 – 17.6 x 25 cm、ISO B6 – 12.5 x 17.6 cm、ISO B7 – 8.8 x 12.5 cm、JIS B5 – 18.2 x 25.7 cm、JIS B6 – 12.8 x 18.2 cm、JIS B7 – 9.1 x 12.8 cm、スキャナ最大サイズ, 長いページ

長いページ:
スキャナの制限を超えた長いドキュメントをスキャンする際は、[長いページ] を選択します.[長いページ] を選択すると、[マルチフィード検出] 機能はご利用になれません。オプション: 未知の長さ、長さ入力 (*スキャナのタイプにより、オプションは異なります。)

長さの分からない、長いページのドキュメントがたくさんある場合は、[未知の長さ] を選択します。[長さ入力] を選択すると、ドキュメントの長さと幅を入力したり、または希望のドキュメントサイズを入力することができます。同じスキャンサイズのドキュメントがたくさんある場合などに便利です。

オーバースキャン

[オーバースキャン]により、ユーザーは、画像の上下または左右に特定の余白を追加できます。(スキャナ タイプによりオプション内容は異なります)。この機能により、傾き補正の際に画像の角が切り取られる可能性を減らすことができ、ADF で傾いたドキュメントの束を一括スキャンする際などに適用できます。0～+5 mm の値を選択します。オーバースキャンの結果は [表示] ウィンドウには表示されず、機能の利用方法はスキャナのタイプにより異なります。

プレフィード

選択肢:Enable(有効)、Disable(無効)。有効を選択時、原稿送り装置にセットされたドキュメントの、スキャナによるプレフィード開始までの時間を設定することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

搬送タイムアウト

最初のスキャンジョブ完了後から自動スキャン開始までの、スキャナの待ち時間を設定します。この機能は特に、同じスキャン設定で複数の別々のドキュメントをスキャンする場合に便利です。デフォルト値は 0 で、値の範囲は 0～30 秒です。

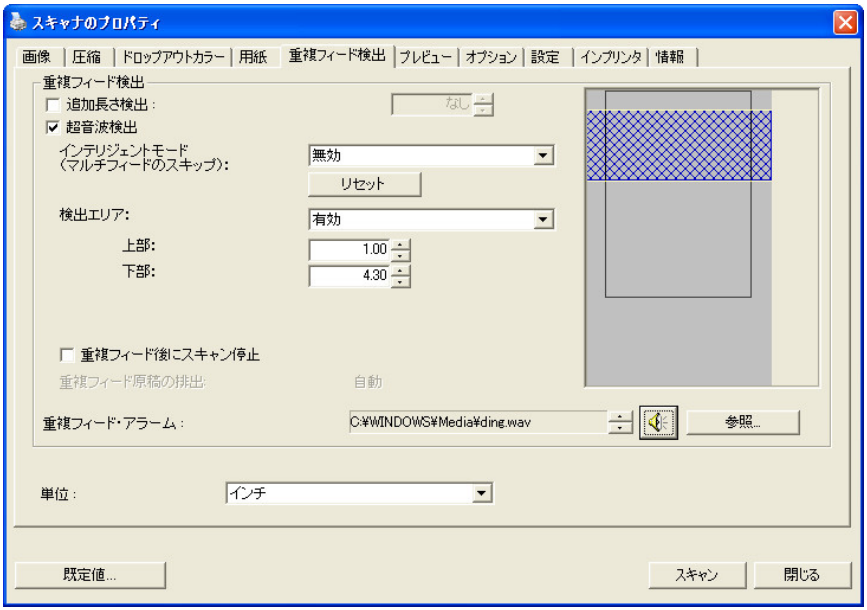
注意:

1 指定されたタイムアウト時間内にドキュメントを原稿送り装置にセットすると、スキャナによってスキャンが自動的に開始されます。

2 スキャナにフラットベッドオプションがあり、原稿をフラットベッドにセットする場合は、タイムアウト後に TWAIN ユーザーインタフェースの Scan(スキャン)ボタンをクリックしてスキャンを開始する必要があります。

4.6 マルチフィード検出

[マルチフィード検出] 機能は、ドキュメントが重なって ADF を通る場合にそれを検出します。マルチフィードは通常、ホッチキスでとめられたドキュメント、装丁されたドキュメント、帯電したドキュメントなどで発生します。メモ:スキャナのタイプによりこの機能がついているものとないものがあります。



追加長さ検出

[追加長さ検出] は、マルチフィードされたドキュメントの長さを定義することができます。この値は、スキャン範囲を超える追加の長さを示します。[表示] ウィンドウには、値を変更するたびにドキュメント サイズを表示します。値が 0 の場合、追加長さ検出はありません。[追加長さ検出] は、同じサイズのドキュメントを ADF でスキャンする際に理想的です。

超音波検出によるインテリジェントモード (マルチフィードのスキップ)

写真やラベルが接着されたドキュメントはマルチフィードとして検出されやすいですが、これらのマルチフィード条件を無視したいという場合があります。その場合は、インテリジェントモードを使用してスキャナにこれらのマルチフィード条件を記憶させ、スキップさせることができます。**選択肢には、無効、長さ(ドキュメント / オブジェクト)を基準とした場合、位置を基準とした場合、長さ(ドキュメント / オブジェクト) + 位置を基準とした場合。**

長さ(ドキュメント / オブジェクト)を基準とした場合: 初めてマルチフィード(給紙)が検出された時、スキャナはドキュメントの長さおよびドキュメントに添付されたオブジェクト(写真またはラベル)の長さの両方を記憶します。次にスキャンを実行する際、マルチフィードのこのパターンはスキップされます。

位置を基準とした場合: 初めてマルチフィード(給紙)が検出された時、スキャナはドキュメントに添付された写真またはラベルの位置を記憶します。次にスキャンを実行する際、マルチフィードのこのパターンはスキップされます。

長さ(ドキュメント / オブジェクト) + 位置を基準とした場合: 初めてマルチフィード(給紙)が検出された時、スキャナはドキュメントの長さ、ドキュメントに添付されたオブジェクト(写真またはラベル)の長さと位置を記憶します。次にスキャンを実行する際、マルチフィードのこのパターンはスキップされます。

インテリジェントモードを使用するには、

1. スキップさせたいマルチフィード検出法を選択します。
2. スキャン中にマルチフィードが発生すると、マルチフィード警告メッセージが表示されます。
3. **OK** を選んで次のスキャンからマルチフィード条件をスキップさせてから、メッセージを閉じます。
4. お使いのスキャンアプリケーションで TWAIN データソースを開きます。同じマルチフィード条件はマルチフィードとして認識されません。

注意:

1. 過去のマルチフィード条件をクリアするには、**Reset** (リセット)ボタンをクリックします。
2. スキャナはスキップするマルチフィード条件を 25 件まで記憶することができます。
3. 過去に記憶され、スキップされるように設定されたマルチフィード条件は、スキャナドライバをアンインストールしても存続されます。

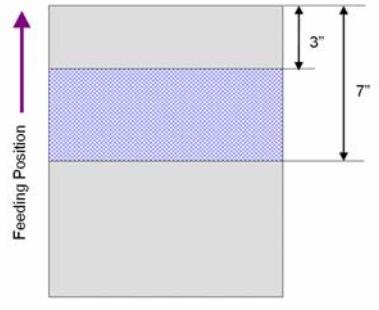
検出エリア

このオプションを使用して、マルチフィード検出エリアを指定することができます。

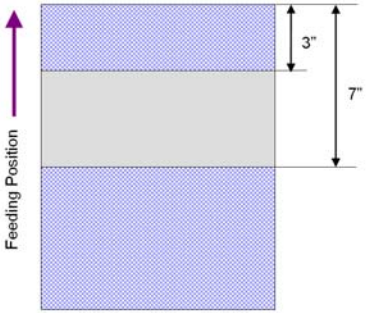
マルチフィード検出エリアを指定するには、以下の手順に従います。

1. インテリジェントモード)から**無効**を選択します。検出エリアの設定がアクティブになります。
2. **範囲の内側**または**範囲の外側**を選択します。検出エリアが強調表示されます。
3. 検出エリアの上部または下部をマウスポインタでドラッグして、表示ウィンドウ内でエリアを指定します。または、Top(上部)および Bottom(下部)の上下矢印キーを使用して、サイズを変更します。Top(上部)は検出範囲の開始位置を示します。Bottom(下部)は検出範囲の終了位置を示します。検出範囲の上部の値は 1 インチ以上に設定する必要があります。

検出エリア:範囲の内側、ボックス、上部:3 インチ、下部:7 インチ



検出エリア:範囲の外側、ボックス、上部:3 インチ、下部:7 インチ



超音波検出

超音波検出により、文書と文書の間の用紙の厚みを検出するので、重なった文書が検出可能です。

- **マルチフィード後のスキャンを停止する**

  このオプションが選択されている場合、複数ページが検出されたときに、スキャナはフィーダーを停止し、以下の警告メッセージを表示します。

対策:

1. 警告メッセージの指示に従い、フィーダーの残りのページを取り除きます。
2. [OK] をクリックし、警告メッセージを閉じます。
3. 残りのページをスキャンします。

- **マルチフィードのサウンドアラーム**

  Wave ファイルを追加すると、マルチフィードが検出されているものの、警告ダイアログボックスが表示されない場合に、アラームが鳴るようにできます。

  [マルチフィード後、スキャンを停止する] が選択されている場合、スキャナはフィーダーを停止します。

  [マルチフィード後、スキャンを停止する] が選択されていない場合、スキャナはドキュメントの最後までスキャンを続行します。

対策:

1. [マルチフィード後、スキャンを停止する] が選択されている場合、前頁の [マルチフィード後、スキャンを停止する] 部分で説明する操作を行い、作業を完了してください。
2. [マルチフィード後、スキャンを停止する] が選択されていない場合、マルチフィードが検出されたページを再スキャンしてください。

マルチフィード原稿の排出:

選択:手動、自動

「自動」が選択されると、マルチフィードが検出されてスキャン動作が停止すると、スキャナが自動的に給紙原稿を排出します。「手動」が選択された場合、マルチフィードが検出されて、スキャン動作が停止すると給紙原稿の排出は手動で行う必要があります。

注意:このオプションが使用可能かどうかは、ご使用のスキャナのタイプにより異なります。

サウンドアラームの追加方法:

1. スピーカー アイコン右側の [参照] ボタンをクリックします。[開く] のダイアログ ボックスが表示されます。
2. ここで wave ファイルを選択します。
3. [開く] ボタンをクリックします。wave ファイルが追加されます。

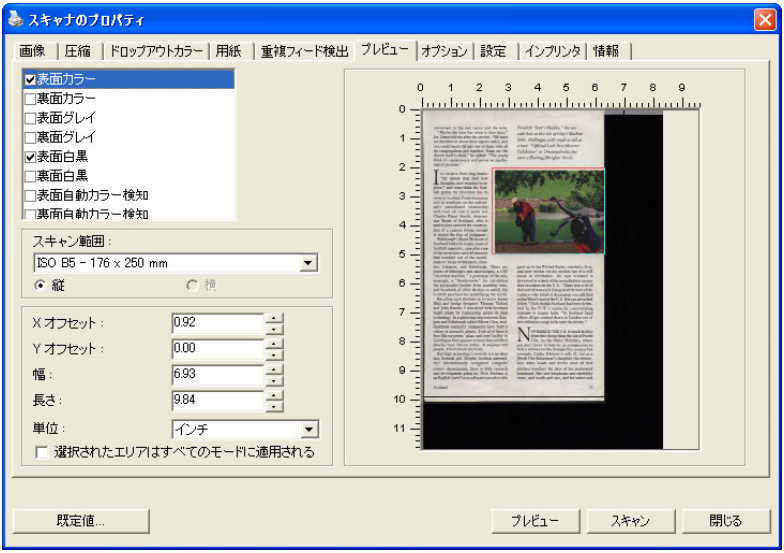
単位

主な測定システムを定義します。**インチ、ミリ、ピクセル**のいずれかを使用します。

4.7 プレビュータブ

プレビュータブでは、最終的なスキャンを行う前に、低解像度スキャンにより画像をプレビューすることができます。画像をプレビューすることで、スキャン範囲を設定することができます。[スキャン範囲] のドロップダウンボックス、またはディスプレイウィンドウでカーソルをドラッグ&ドロップして、スキャン範囲を設定してください。赤い四角い枠が選択範囲を示します。

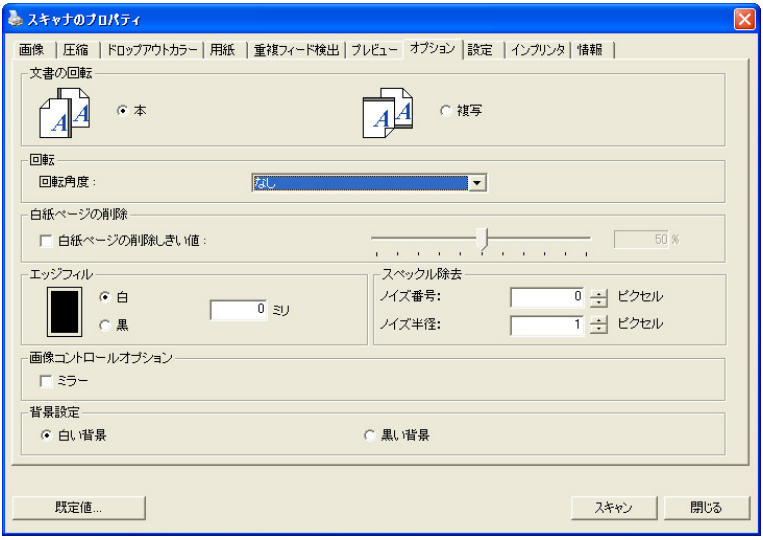
メモ:[用紙] タブで [自動クロップ] を選択した場合、[プレビュータブ] でスキャン範囲を選択することはできません。



プレビュータブ

4.8 オプション タブ

[オプション] タブでは、以下の画像処理設定を行うことができます。



[オプション] タブのダイアログ ボックス

文書の回転

このオプションは、両面印刷の文書を処理しており、[複写] が選択されている場合、反対側の画像を 180°回転することができます。

これは、縦長 (幅よりも高さが長い) の両面印刷文書に適用されますが、場合によっては横長 (高さが幅よりも長い)、または逆の方向でスキャナにセットすることができます。この場合は、反対側の画像がさらに 180°回転します。

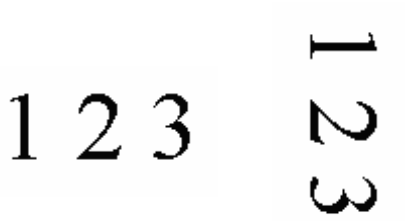
選択し: 本、複写

[本] が選択されると、反対側の画像は回転されません。

下図は、スキャナに横長でセットされた、縦長文書の方向を示しています。

画像回転　スキャンした画像を回転させる場合は、ドロップダウン リストから回転角度を選択します。

オプション:なし、90°時計回り、90°逆時計回り、180°, 自動ベースオンコンテンツ.



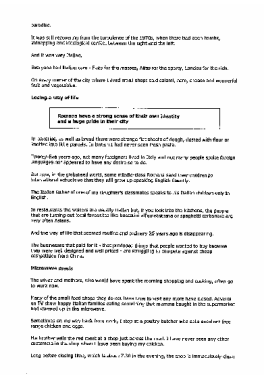
原稿　**90°時計回り**

90°逆時計回り　**180°回転**

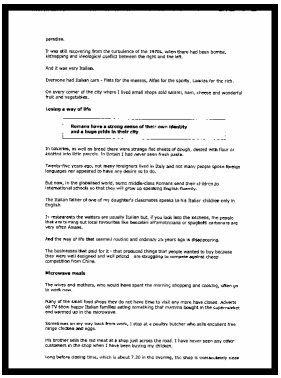
自動ベースオンコンテンツ: **自動ベースオンコンテンツ**が選択されているとき、画像はその内容に基づいて適切な方向に回転できます。

白紙ページの削除　白紙ページを削除したい場合はこのオプションをチェックし、希望のしきい値までスライダーを左右に動かします。

エッジフィル　スキャン画像の周りに白または黒いエッジ (枠) を付ける場合には、[白] または [黒] を選択します。0～5 mm の間で値を入力します。既定値は 0 です。



原稿

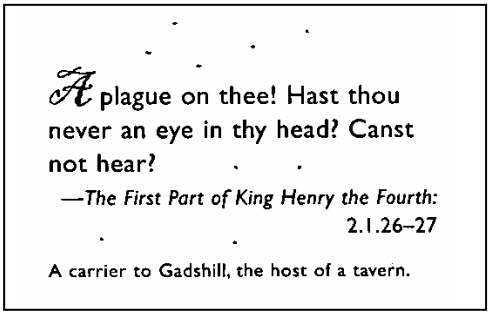


エッジフィル: **5mm (黒)**

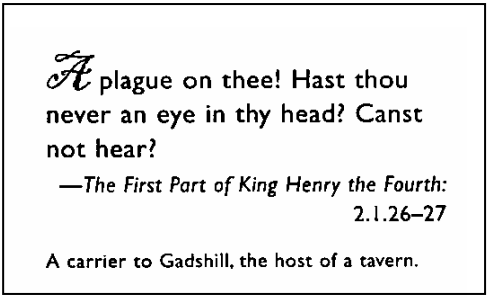
斑点除去

時おり、小さな点や斑点がスキャンされたイメージの背景に出現することがあります。不要な斑点を除去することで、OCR(光学式文字読取装置)処理するイメージを向上させ、また圧縮ファイルのサイズを減少させます。

ノイズの番号(サイズ)および範囲を指定することで、除去したい斑点(イメージノイズ)を定義します。測定単位は画素(ピクセル)です。画素数が大きければ大きいほど、より多くの斑点が除去されます。



斑点除去前
(ノイズ番号:0、ノイズ範囲:1)



斑点除去後
(ノイズ番号:22、ノイズ範囲:10)

注意:

•この機能は現在、黒白イメージにのみ利用可能です。

•定格回転数でスキャンするには、ノイズ範囲を 10 画素以下に設定するようお勧めします。

画像コントロールオプション

[ミラー] ボックスをチェックすると、画像の左右が逆転します。

原稿

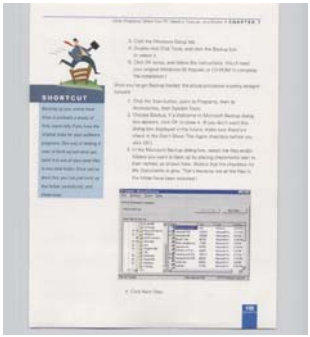
ミラー効果

背景設定

このオプションにより、スキャニングの背景を設定できます。**選択肢：白背景、黒背景**

注：自動文書フィーダー付きのシートフィードスキャナの場合、このオプションは現在、「自動トリミング」モードでのみ利用可能です。平台プラテン付きのスキャナの場合、このオプションは、「自動トリミング」か「トランスポートに固定」モードで利用可能です。

「自動トリミング」か「トランスポートに固定」モードの選択に関する詳細については、セクション 4.5.1 トリミングを参照してください。

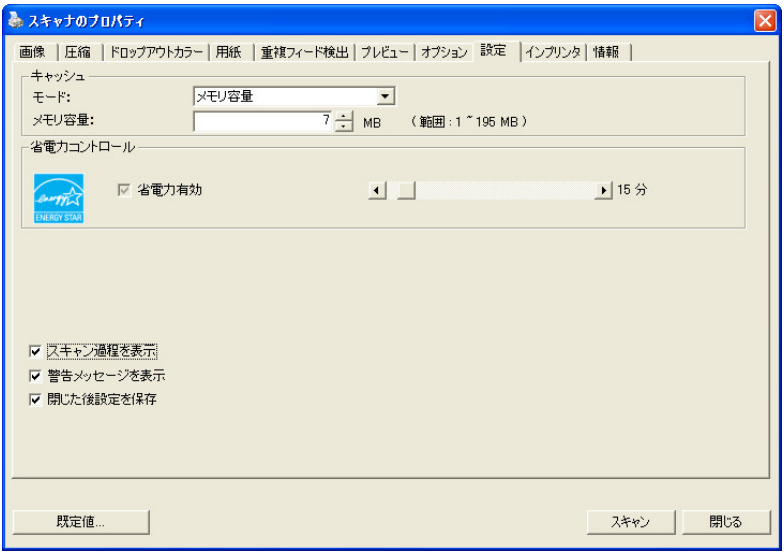


白背景

黒背景

4.9 設定タブ

[設定] タブでは、以下の設定が可能です。



[設定] タブのダイアログ ボックス

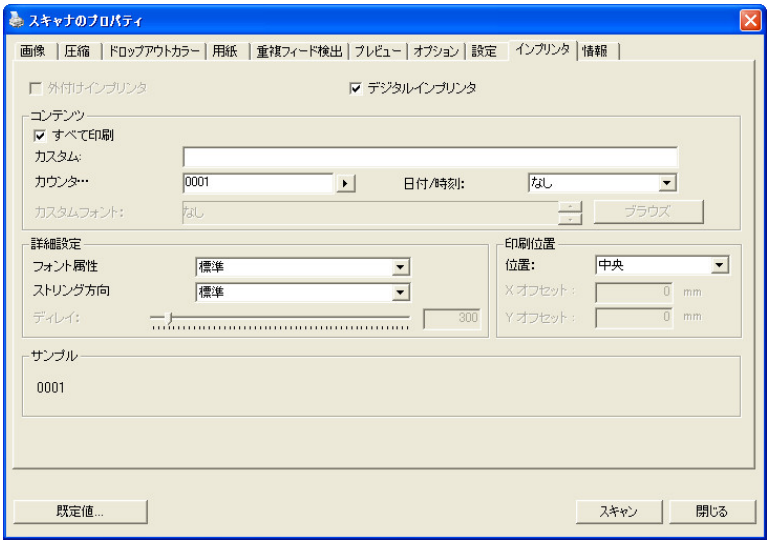
キャッシュ	**モード:なし、ページ番号、メモリ容量** このオプションでは、利用可能な RAM から画像データの処理用のメモリ容量を指定して割り当てることができます。小さいメモリ容量を指定すると、より多くのメモリが実行中の他のアプリケーション用に残されます。より大きいメモリ容量を指定すると、特に大量のドキュメントのスキャン時に、画像データ処理に多くのメモリを使用できます。 ページ番号ごとにメモリ容量を指定することもできます。ご参考までに、A4 のカラードキュメントを 300dpi でスキャンする場合の使用メモリは約 24MB です。

	画像カウント 選択したキャッシュモードが「なし」の場合、画像カウントオプションによりスキャンが必要なページ数を割り当てることができます。例えば、最初の 2 ページスキャンしたい場合は、ページスライダーを 2 に動かすと、最初の 2 ページのスキャンが終了した時スキャン動作が停止します。
省電力 コントロール	**[省電力有効]** ボックスをチェックし、スライダーを右に移動させて、スキャン操作の後に省電力を有効化する時間を設定します。範囲は 1～240 分です。既定値は 15 分です。
スキャン過程を表示	このオプションをチェックすると、スキャン中にスキャン過程を示すバーが表示されます。
バーコード検出	このオプションにチェックを入れ、お客様の書類の検出とバーコード識別を行います。検出プロセスの後では、avbarcode.ini file が生成され、システムドライブに保存されます (例：Windows\avbarcode.ini)。
警告メッセージの表示	このオプションをチェックすると、「ADF パッドカウントが 50,000 スキャンを超過しました (この数はスキャナ タイプにより異なります)。ADF パッドを交換し、パッドカウントをリセットしてください。」などのメッセージを表示します。
閉じた後設定を保存	このオプションをチェックすると、ダイアログ ボックスを終了した後もスキャナのプロパティ設定を保存します。次回 [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスを開いたときに、前回に保存された設定が表示されます。

4.10 インプリンタのタブ

インプリンタのタブを使用して、英数字、日付、時刻、ドキュメントカウント、カスタムメッセージを、スキャン画像上(デジタルインプリンタ選択時)、またはドキュメント裏面(外付けインプリンタ選択肢)にプリントすることができます。

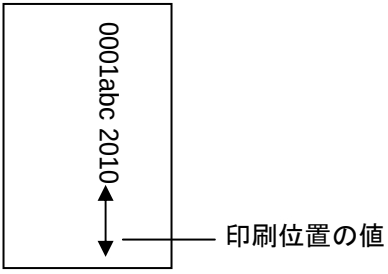
選択肢:外付けインプリンタ、 デジタルインプリンタ 外付けインプリンタが取付けられている場合は、外付けインプリンタを選択します。インプリンタがない場合は、デジタルインプリンタを選択します。外付けインプリンタでは、縦方向、裏面印刷が可能ですが、デジタルプリンタは横方向、表面印刷のみが可能です。

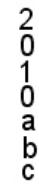
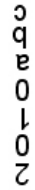
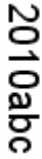
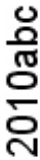


項目

すべて印刷	**Print All (すべて印刷)** を選択すると、ドキュメントの全ページのテキストが自動的に印刷されます。 **Print All (すべて印刷)**の選択を解除すると、ドキュメントの最初のページのテキストのみが印刷されます。
カスタム	印刷文字列に含めるカスタムテキストを入力します。
カウンタ	スキャンセッションのドキュメントカウントを表示します。この値はスキャナによって連続的に増加されます。
日付 / 時刻	印刷文字列に日付と時刻を含めたい場合は、この項目を選択します。 形式：YYYYMMDDHHSS 例として、20090402170645-check0001 は年、月、日、時刻、秒、カスタムテキスト、カウンタを表します。
カスタムフォント	希望のフォントを選択します。 **選択肢:通常、固定幅** **固定幅(等幅)**フォントには、固定文字送り幅があります。したがって、各文字は同じ幅になります。

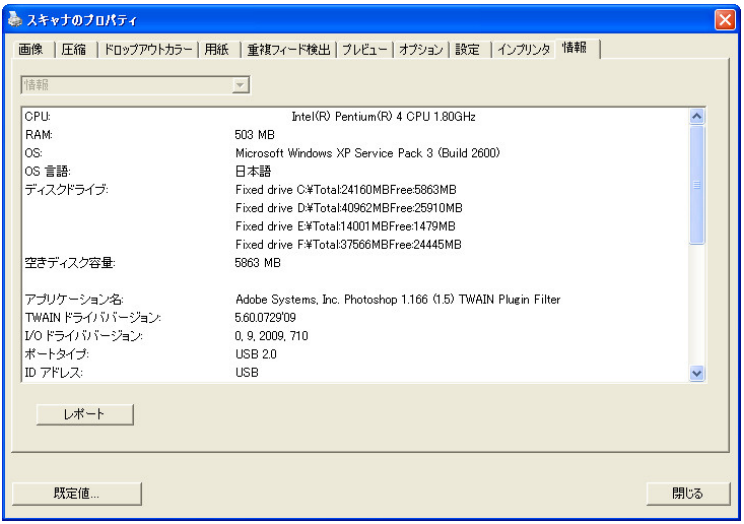
詳細設定

フォントの属性	フォントの属性を選択します。**選択肢：普通、下線、二重、太字**
印刷位置	文字列を印刷したい位置を選択します。スライダーを右に移動させて、数値を上げるか、左に移動させて、数値を下げます。範囲：0～355mm、デフォルト：0 mm 数値は、紙の底部から文字列の最後の文字までの高さを示しています。このオプションは、外部のインプリンタが設置された場合のみ利用可能です。 
印刷位置 (デジタルインプリンタ)	印刷文字列の位置を選択します。**選択肢：上部、中央、下部、カスタム。**Custom(カスタム)選択時、X 軸とY 軸のオフセット値を入力して位置を指定します。

<table>
<tr>
<td>文字列の向き</td>
<td>文字列の向きを選択します。
選択肢:通常、回転、垂直、垂直反転、右回りに 90 度回転、左回りに 90 度回転
<table>
<tr>
<td>
通常</td>
<td>
回転</td>
</tr>
<tr>
<td> 
垂直</td>
<td> 
垂直反転</td>
</tr>
<tr>
<td> 
右回りに 90 度回転</td>
<td> 
左回りに 90 度回転</td>
</tr>
</table>
スキャンした画像にテキストをスタンプするために、デジタルインプリンタを確認すると、通常の文字列と回転された文字列のイラストが以下のように表示されます。
<table>
<tr>
<td>
通常</td>
<td>
回転</td>
</tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

4.11 情報タブ

[情報] タブには、システムとスキャナに関する情報が表示されます。



[情報] タブのダイアログ ボックス

[レポート] ボタン:

スキャナを使用中にエラー メッセージが表示された場合は、[レポート] ボタンをクリックします。report.txt ファイルが C:\AVxxx に作成されます。 このファイルを保存しておいて、サービスを受ける際にご提出ください。

[パッド カウントをリセット] ボタン」:

ADF を通して約 50,000 ページ(注:数値はスキャナのタイプにより異なります)をスキャンすると、ADF パッドが消耗し、紙送りに支障が出る場合があります。この場合は、ADF パッドを新しいものと交換することをお勧めします。交換手順については、マニュアルをご覧ください。ADF パッドのご注文は、販売店にお問い合わせください。ADF パッドを交換した後は、**[パッド カウントをリセット]** ボタンをクリックし、パッド カウントをリセットします。

[ローラー カウントをリセット] ボタン」:

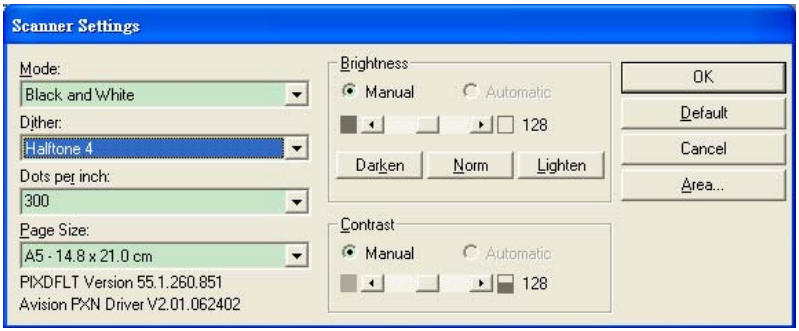
ADF を通して約 200,000 ページ(注:数値はスキャナのタイプにより異なります)をスキャンすると、ADF ローラーが消耗し、紙送りに支障が出る場合があります。 この場合は、ADF ローラーを新しいものと交換することをお勧めします。 ADF ローラーの交換は認定されたサービス センターで行います。このため、ローラー交換の際はスキャナを御返送ください。ADF ローラーを交換した後は、**[パッド ローラーをリセット]** ボタンをクリックし、ローラー カウントをリセットします。

注:
各部位の寿命や交換手順はスキャナタイプにより異なります。詳細は販売店へお問い合わせください。

5. ISISインタフェース操作

*ISISスキャナドライバのインストールについては、前の「スキャナのインストール」章を参照してください。 付属のQuickScanソフトウェアアプリケーションを起動して、ISISユーザーインターフェース経由でスキャンすることもできます。

ISISドライバの操作はTWAINドライバと同様です。
ISISインタフェース画面の各機能が下記に簡単に説明されています。



モード: モノクロ、グレー、カラーのスキャンモードから一つを指定します。

ディザー: 5個のハーフトーンレベルが使用可能ですが、無効にもできます。

インチ当たりドット数: 必要な解像度を指定します。

紙サイズ: 必要な紙サイズを指定します。

輝度: スキャンイメージの明暗を調節します。

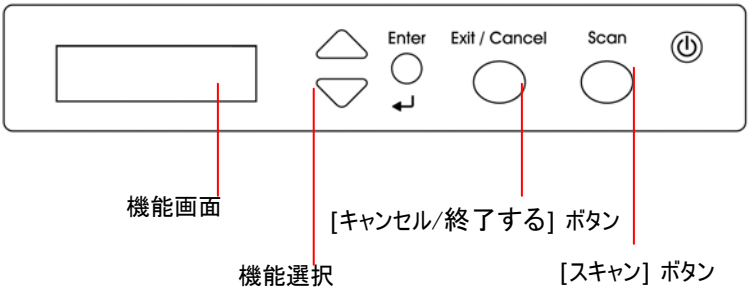
コントラスト: イメージの最も明るい部分と暗い部分の間の範囲を調節します。

デフォルト: クリックすると全部の設定を元に戻します。

範囲: スキャンしたい範囲や箇所を指定します。

6. スキャナ ボタンの使い方

下図にはスキャナーの 3 個のボタンおよび1つの機能スクリーンが示されています。



6.1 ボタンマネージャのインストール

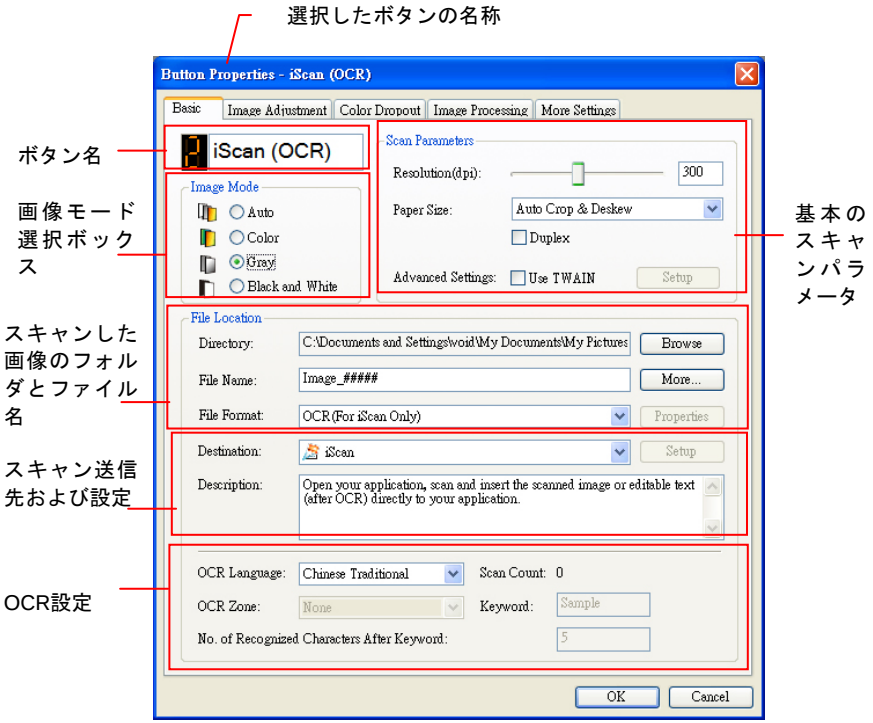
ボタンマネージャは、ドキュメントのスキャンをより簡易化し、スキャンされた画像を目的のソフトウェアアプリケーションにリンクします。これらの操作は、すべてスキャナのボタンをタッチするだけで実行可能です。ただし、スキャンを実行する前に、まずボタン設定を確認し、正しいファイル形式と目的のアプリケーションが選択されているかどうかを確かめます。

6.2 スキャン前のボタン設定の確認

1. ボタンマネージャとスキャナドライバをコンピュータにインストールした後、ボタンパネルがパソコン画面右下の Windows システムトレイに表示されます。

ボタンパネル

2. ボタンパネルには、最初の 5 つのスキャンボタンが表示されます。希望のボタン (機能) を右クリックします。[ボタンのプロパティ] ウィンドウが表示されます。



設定を変更する場合は、このウィンドウでファイル形式、目的のアプリケーション、その他のスキャン設定をリセットします。設定のリセット方法については、この次のセクション「ボタンの設定」を参照してください。

3. [OK] ボタンをクリックして終了します。

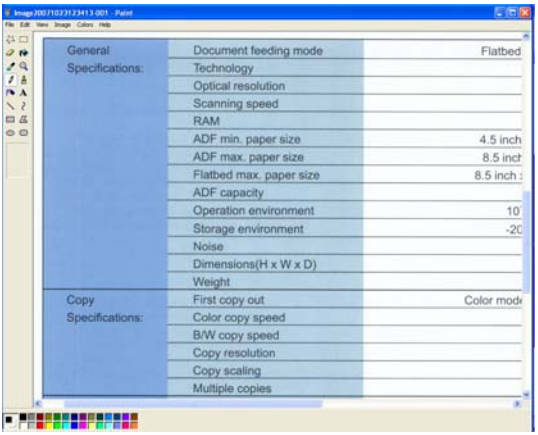
6.3 ボタンワンタッチからのスキャン実行

1. 用紙ガイドを用紙の幅に合わせ、用紙の上の部分から、自動ドキュメントフィーダーにセットしてください。

2. LED 画面の番号を見て、正しいスキャン設定と目的のアプリケーションが選択されているかどうかを確認してください。(たとえば、ボタン #4 でスキャンする場合は、LED 画面に 3 と表示されます。このスキャン方法では、Microsoft Paint が起動し、スキャンされた画像は Microsoft Paint のメインウィンドウで表示されます)。

3. スキャナの [Scan] ボタンを押します。

4. スキャンが完了すると、Microsoft Paint が実行され、スキャンされた画像は下図のように Microsoft Paint のメインウィンドウに表示されます。



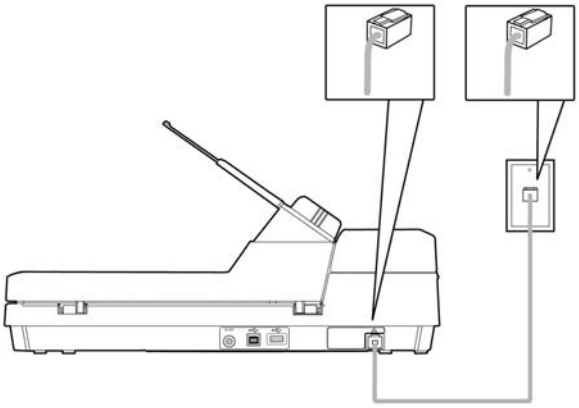
メモ:
ボタンマネージャの使用法に関する詳細は、付属 CD に含まれるユーザーズマニュアルを参照してください。

7. ネットワーク スキャナとして本製品を利用する

スキャナの背面にはネットワーク ポートが付いており、本製品はネットワークスキャナとして使用することができます。 つまり、イントラネット環境にあるユーザは、スキャナを共有したり、個々のコンピュータからスキャンした画像を取得したりできます。

7.1 LANケーブルを接続する

1. イーサネット LAN ケーブルの一端をイーサネット ハブの空きポートに接続します。
2. もう一方の端を本製品裏側の LAN ポートに接続します。

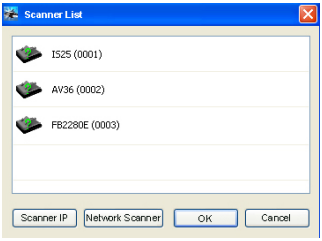


7.2 Button Manager V2でスキャナを接続する

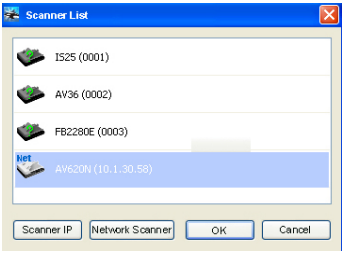
付属のソフトウェア、Button Manager V2を利用してネットワーク スキャナをコンピュータに接続することができます。 第 2 章『Scanner Installation(スキャナのインストール)』を参照して、Button Manager V2をコンピュータにインストールしてください。

スキャナをコンピュータに接続するには、次のように操作します。

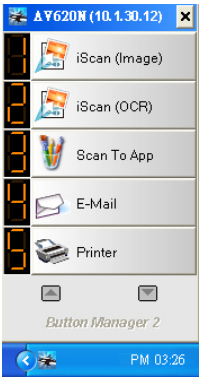
1. 「Start (スタート)」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」>「Avision Button Manager」>「Button Manager 2」の順に選択して、Button Manager V2を開始します。次のような「Scanner List (スキャナー覧)」ダイアログ ボックスが表示されます。



2. 「Network Scanner (ネットワーク スキャナ)」ボタンをクリックします。コンピュータがネットワークにあるスキャナを自動的に検索します。
3. すぐにネットワーク スキャナが検出され、次のようにスキャナの一覧に追加されます。



4. ネットワーク スキャナを選択して「OK」ボタンをクリックし、スキャナを接続します。 接続に成功すると、「Network connection successful (ネットワーク接続に成功しました)」メッセージが表示され、図のようなボタン アイコンとボタン パネルが画面の右隅に表示されます。



重要:

ネットワーク スキャナとお使いのコンピュータが同じネットワーク セグメントにある場合にのみ、そのコンピュータはそのネットワーク スキャナを検出することができます。

7.3 文書をスキャンする

1. スキャナの電源が入っていることを確認します。

2. スキャナのLCDディスプレイに下の図のような「**Select mode** (モードの選択)」が表示されます。選択肢にはPC、ネットワーク、USBディスクがあります。

Select mode ▶PC	「モードの選択」 ▶PC

3. **矢印**キーを繰り返し押して「**Network** (ネットワーク)」を表示します。

「Select mode」 ▶Network	「モードの選択」 ▶ネットワーク

4. **Enter**キーを押して選択を確定します。LCDディスプレイに「**Select user** (ユーザーの選択)」情報が表示されます。

Select user ▶Helen	「ユーザーの選択」 ▶Helen

5. **矢印**キーを繰り返し押して希望のユーザー名を表示します。(ネットワークに存在する複数のコンピュータでスキャナを共有する場合があります。)

6. **Enter**キーを押してユーザー名の選択を確定します。LCDディスプレイに次のプロファイル一覧が表示されます。

Select profile ▶iScan (Image)	「プロファイルの選択」 ▶(iScan (画像))

7. **矢印**キーを繰り返し押して希望のボタン機能を表示します。たとえば、「Printer (プリンタ)」を選択します。

Select profile ►Printer	「プロファイルの選択」 ►プリンタ

8. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。液晶画面には「**Ready to scan(スキャン準備完了)**」と表示されます。ドキュメントをスキャナに置いてください。

9. スキャナの**Scan** (スキャン) ボタンを押します。

10. スキャナがスキャンを開始します。スキャンされた画像は既定のプリンタから出力されます。

7.4 デフォルトの機能番号と定義済みタスクでのButton Managerの使用

スキャナは出荷時に、スキャンしてプリンタで印刷、スキャンする電子メール、またはスキャンしてフォルダに保存など、頻繁に使用するタスク用にあらかじめ9つのボタンが構成された状態で出荷されています。次の表は、これらの工場デフォルト設定を示しています。以下の設定のいずれかを変更できます。

ボタン番号	名称	送信先 / 用途	プリセットスキャン設定
1	iScan(画像)	ドキュメントをスキャンし、スキャンした画像をすでに起動しているアプリケーションに挿入するときに、このボタンを選択します	自動カラー検出、200 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング
2	iScan（OCR）	ドキュメントをスキャンし、OCR（光学式文字認識）後編集可能なテキストをすでに開いているテキストエディタに挿入するときに、このボタンを選択します。	自動カラー検出、300 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング
3	Scan To App（スキャンしてアプリに送信)	ドキュメントをスキャンし、画像を指定したアプリケーション（デフォルト： MS Paint）に送信するときに、このボタンを選択します	自動カラー検出、200 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング

4	E-mail（電子メール)	ドキュメントをスキャンし、デフォルトの電子メールソフトウェアから電子メール受信者に添付ファイルとして画像を送信するときに、このボタンを使用します。	自動カラー検出、200 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング
5	Printer（プリンタ)	ドキュメントをスキャンし、デフォルトのプリンタから印刷するときに、このボタンを選択します。	自動カラー検出、200 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング
6	Shared Folder（共有フォルダ)	ドキュメントをスキャンし、画像をネットワークの共有フォルダに保存するときに、このボタンを選択します。	自動カラー検出、200 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング
7	FTP	ドキュメントをスキャンし、画像をFTPなどのネットワークファイルサーバーに保存するときに、このボタンを選択します。	自動カラー検出、200 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング
8	SharePoint	ドキュメントをスキャンし、画像をMicrosoft SharePoint serverなどのネットワークファイルサーバーに保存するときに、このボタンを選択します。	自動カラー検出、200 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング

9	Google Docs	ドキュメントをスキャンし、画像をGoogle Docsなどのネットワークファイルサーバーに保存するときに、このボタンを選択します。	自動カラー検出、200 dpi、Simplex、JPEG、自動トリミング

注記:

- デフォルト設定を正しく使用するには、インターネット環境でコンピュータをセットアップし、電子メールソフトウェアやプリンタなどの必須ソフトウェアアプリケーションをインストールした後にButton Managerをインストールする必要があります。
- スキャンした画像をFTP、Microsoft SharePoint、またはGoogle Docsなどのネットワークサーバーに送信するには、ネットワークサーバーへのアクセス権を持っていることを確認してください。例えば、まずログイン名とパスワードを作成する必要があります。
- **Microsoft .NET Framework:** スキャンした画像をネットワークサーバーに正しく送信するには、Microsoft .NET Framework 2.0以上が必要です。（Start（スタート）>Control Panel（コントロールパネル）>Add or Remove Programs（プログラムの追加と削除）の順に選択して、プログラムとバージョンを確認します。プログラムのリストが表示されます。すでにMicrosoft .NET Frameworkをインストールしている場合、プログラムとバージョンがリストに示されます）。

- **Google Docs:** GoogleはGoogle Docsと呼ばれるドキュメントホスティング、管理および編集サービスをGoogle Webサイト（http://docs.google.com）でサインアップしたすべてのユーザーに提供しています。
- **Microsoft SharePoint:** Microsoft SharePointは、ファイル共有とWebパブリッシングのためにMicrosoftが開発したコラボレーションとドキュメントライブラリツールです。

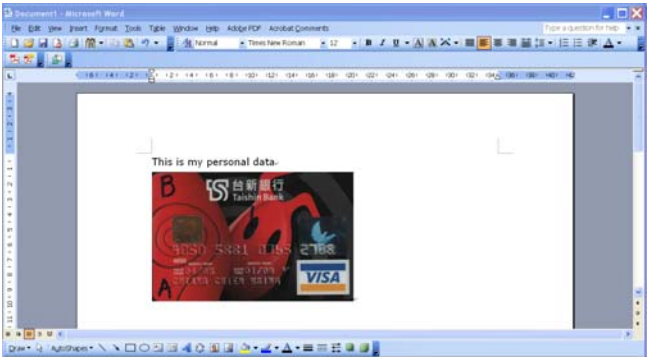
  SharePointサーバー用の正しいURLを取得するには、システム管理者に連絡する必要があります。 システム管理者はSharePointへのアクセス権、および有効なユーザーログインとパスワードを提供します。

7.5 ソフトウェアアプリケーションに画像を直接挿入

Button Manager V2を使えば、すでに開いているソフトウェアアプリケーションにスキャン画像を直接挿入できます。例えば、Microsoft Wordでテキストを編集しているとき、スキャンした写真を挿入する必要が出た場合、スキャンするだけで、スキャンした画像はMicrosoft Wordに挿入され表示されます。

すでに開いているソフトウェアアプリケーションにスキャン画像を挿入するには、

1. Microsoft Word ファイルとして画像を挿入する現在のドキュメントを開きます。
2. 画像の挿入場所にカーソルを移動します。
3. スキャナにドキュメントを差し込みます。
4. 矢印キーを利用してプロファイルを選択し、LCD ディスプレイに「iScan(Image) (iScan(画像))」が表示されていることを確認します。
5. 選択を確定するには **Enter** キーを押します。液晶画面には「**Ready to scan(スキャン準備完了)**」と表示されます。ドキュメントをスキャナに置いてください。
6. 瞬時に、スキャン画像が doc ファイルに直接挿入されます。



7.6 画像テキストを変換し、ソフトウェアアプリケーションにテキストを挿入

Button Manager V2を使えば、画像をスキャンしOCR（光学式文字認識）プロセスを通して画像テキストを編集可能なテキストに変換し、テキストをソフトウェアアプリケーションに直接挿入できます。例えば、Microsoft Wordでテキストを編集しているとき、画像から編集可能なテキストを挿入する必要が出た場合、スキャンするだけで、変換した画像はMicrosoft Wordに挿入され表示されます。

編集可能なテキストを変換し、ソフトウェアアプリケーションで挿入するには、

1. Microsoft Word ファイルとして画像を挿入する現在のドキュメントを開きます。
2. テキストの挿入場所にカーソルを移動します。
3. スキャナにドキュメントを差し込みます。
4. 矢印キーを利用してボタン プロファイルを選択し、LCD ディスプレイに「iScan(OCR)」が表示されていることを確認します。
5. 選択を確定するには **Enter** キーを押します。液晶画面には「**Ready to scan(スキャン準備完了)**」と表示されます。ドキュメントをスキャナに置いてください。
6. 瞬時に、スキャン画像が doc ファイルに直接挿入されます。

7.7 スキャンした画像をネットワークサーバーにアップロード

重要:
スキャンした画像をネットワークサーバーに保存するには、FTP、Microsoft SharePoint、Google Docsなどのネットワークファイルサーバーにアクセスするためのアカウント、またはネットワークの共有フォルダにアクセスするためのアカウントを設定する必要があります。

画像をネットワークにアップロードするには

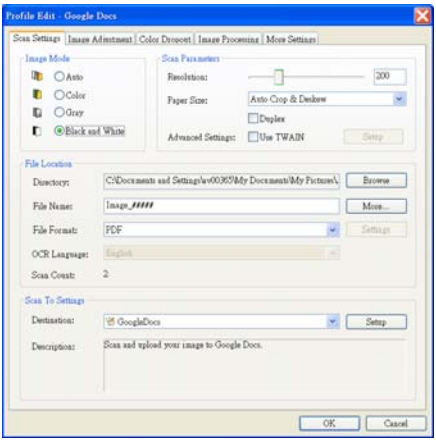
1. 「スキャン送信先設定」ダイアログボックスに自分のアカウントとフォルダ情報が入力されていることを確認します。

   a. ボタンアイコンをクリックして、ボタンパネルを表示します。

   b. 画像を保存するネットワークファイルサーバーを選択します。例えば、ボタンNo.9のGoogle Docs(

)を選択します。

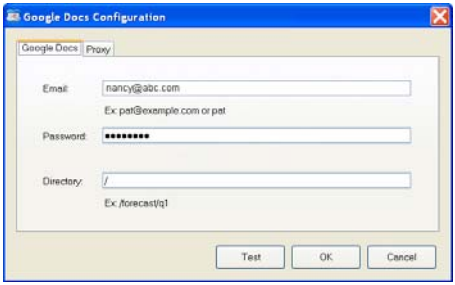
   c. ボタンNo.9を右クリックすると、以下に示すように**プロファイル編集**ダイアログボックスが表示されます。



d. ファイル形式として「**PDF**」を選択します。(通常のアカウントでは、これがGoogle Docsへのアップロードがサポートされている唯一のファイル形式です。ビジネスアカウントの場合、任意のファイル形式を利用できます。)

e. 「**スキャン送信先設定**」オプションで「セットアップ」をクリックします。「**Google Docs構成**」ダイアログボックスが表示されます。

f. フィールドに自分のアカウントとフォルダ情報を入力し、「**OK**」をクリックして完了します。「**テスト**」をクリックして、アカウントが機能するかどうかを試してみることができます。



2. プロファイル「**Google docs**」がLCDディスプレイに表示されることを確認してください。

Select profile ►Google Docs	プロファイルの選択 ►Google Docs

3. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。液晶画面には「**Ready to scan(スキャン準備完了)**」と表示されます。ドキュメントをスキャナに置いてください。

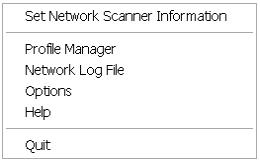
4. コントロールパネルの**スキャン**ボタンを押します。瞬時に、スキャンした画像がGoogle docsに保存されます。

7.8 ネットワークスキャナのIPアドレスの変更

DHCPサーバーで指定されたIPアドレスの代わりに静止IPアドレスを使用する場合、以下のステップに従ってください。

1. USBケーブルの**正方形型の端子**をスキャナーのUSBポートに接続します。**長方形型の端子**はご使用のコンピュータのUSBポートに接続します。

2. システムトレイの右隅で、Button Managerアイコン（ ）を右クリックして、次のメニューを表示します。



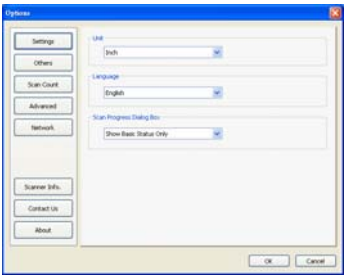
3. 「Static（静的）」をチェックしてから、希望の IP アドレス、ネットマスクアドレス、およびゲートウェイアドレスを入力し、「OK」をクリックして設定を保存しダイアログボックスを終了します。

4. ネットワークスキャナをオフにしてからオンにすると、新しい IP アドレスが Button Manager により自動的に検索されます。

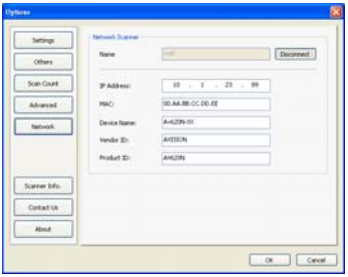
5. 次のステップにより、Button Manager を通してネットワークスキャナを再接続します。

   a. 右隅で Button Manager アイコン（ ）を右クリックしてメニュー画面を表示します。

   b. 「Options（オプション）」を選択すると、次の「Options（オプション）」画面が表示されます。



   c. 「Network（ネットワーク）」を選択すると、次の画面が表示されます。



d. Button Manager は、ネットワークスキャナの新しい IP アドレスを自動的に検索します。 「Connect（接続）」に続いて「OK」をクリックして、ネットワークスキャナに再接続します。

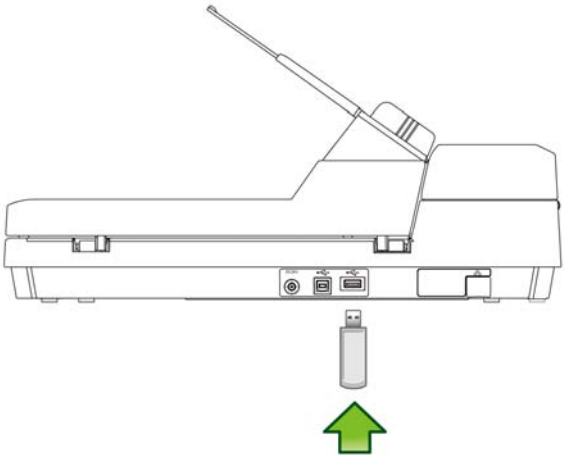
e. 接続に成功すると、「ネットワーク接続が成功しました」というメッセージが表示されます。

8. スキャン画像をUSBドライブに保存する

スキャナの後ろにあるUSBフラッシュドライブポートにUSBフラッシュドライブを挿入すると、コンピュータがなくともスキャンを始め、直接USBフラッシュドライブにスキャン画像を保存することができます。

8.1 USBフラッシュドライブの接続

下の図のように、スキャナ後部の USB フラッシュドライブポートに USB フラッシュドライブを挿入します:



8.2 インスタント・スキャンの開始

1. スキャナの電源がONで、USBフラッシュドライブがスキャナに挿入されていることを確認してください。

2. イラストのように「**Select mode(モード選択)**」がスキャナの液晶画面に表示されます。PC、ネットワークおよびUSBディスクから選択します。

Select mode
▶PC

3. 繰り返し**矢印**キーを押して、「**USB disk (USBディスク)**」を表示させます。

Select mode
▶USB disk

4. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。液晶画面に以下のSelect profile(プロフィール選択)が表示されます。選択にはDocument(文書)、Photo(写真)、Setting(設定)があります。「Document(ドキュメント)」モードのプレ設定:200dpi、色、PDF、レターサイズ。「Photo(フォト)」モード:200dpi、色、JPEG、4”x6”。異なるサイズをスキャンする場合には、「**Setting**(設定)」オプションを選択してください。

Select profile
▶Document

5. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。

6. 液晶画面には「**Simplex(単面) / Duplex(両面)**」オプションが表示されます。

Simplex / Duplex
▶Simplex

7. 自動給紙装置からドキュメントのおもて面とうら面をスキャンする場合には、「**Duplex**(両面)」が表示されるまで繰り返し**矢印**キーを押してください。(ドキュメントガラスでドキュメントの片面のみをスキャンする場合には「**Simplex**(単面)」を選んでください。)

8. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。

9. 液晶画面には「**Ready to scan(スキャン準備完了)**」と表示されます。ドキュメントをスキャナに置いてください。

Ready to scan
▶Back

Scan

10. スキャナで**Scan**(スキャン)ボタンを押します。

11. スキャナがスキャンを始め、スキャン画像がUSBフラッシュドライブに保存されます。

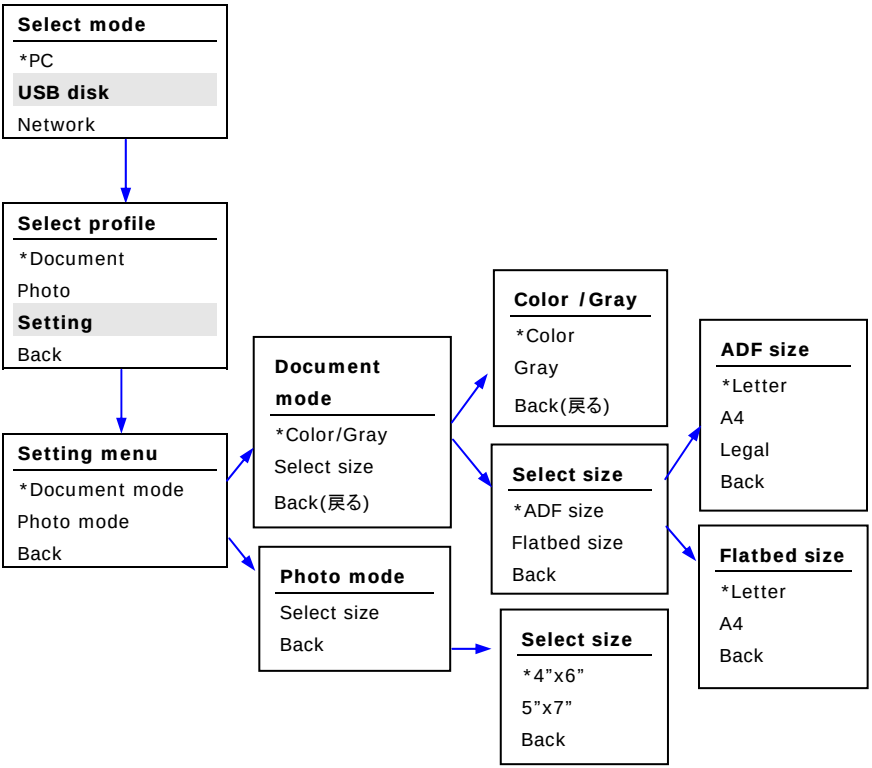
メモ:

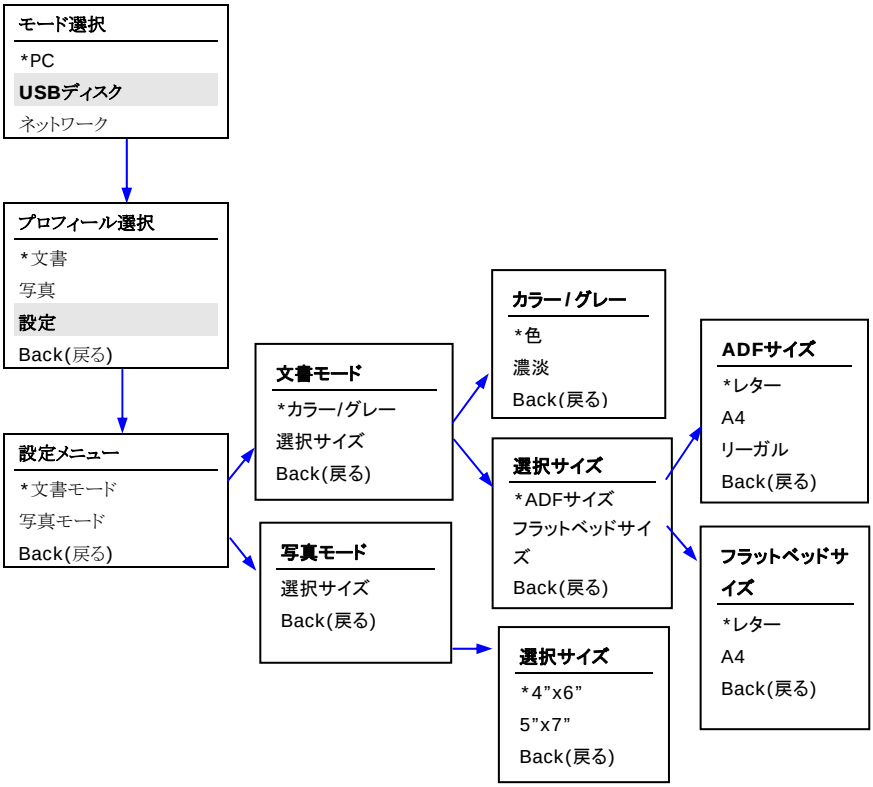
1. もし「**Document mode(文書モード)**」が選択されている場合、「**DCIM\DOC**」と名前のついたサブフォルダを持つメインフォルダがUSBフラッシュドライブに作成されます。フォルダには最大9,999個のPDFファイルが保存できます。各PDFファイルには"DOC"の接頭語の後に、4ケタのシリアル番号が続く名前が付けられます。例えば、DOC0001.PDF、DOC0002.PDFなど。)
2. もし「**Photo mode(写真モード)**」が選択されている場合、「**DCIM\PHOTO**」と名前のついたサブフォルダを持つメインフォルダがUSBフラッシュドライブに作成されます。フォルダには最大9,999個のJPEFファイルが保存できます。各JPEGファイルには"IMG"の接頭語の後に、4ケタのシリアル番号が続く名前が付けられます。例えば、IMG0001.jpgやIMG0002.jpgなど。)

8.3 メニューマップの表示

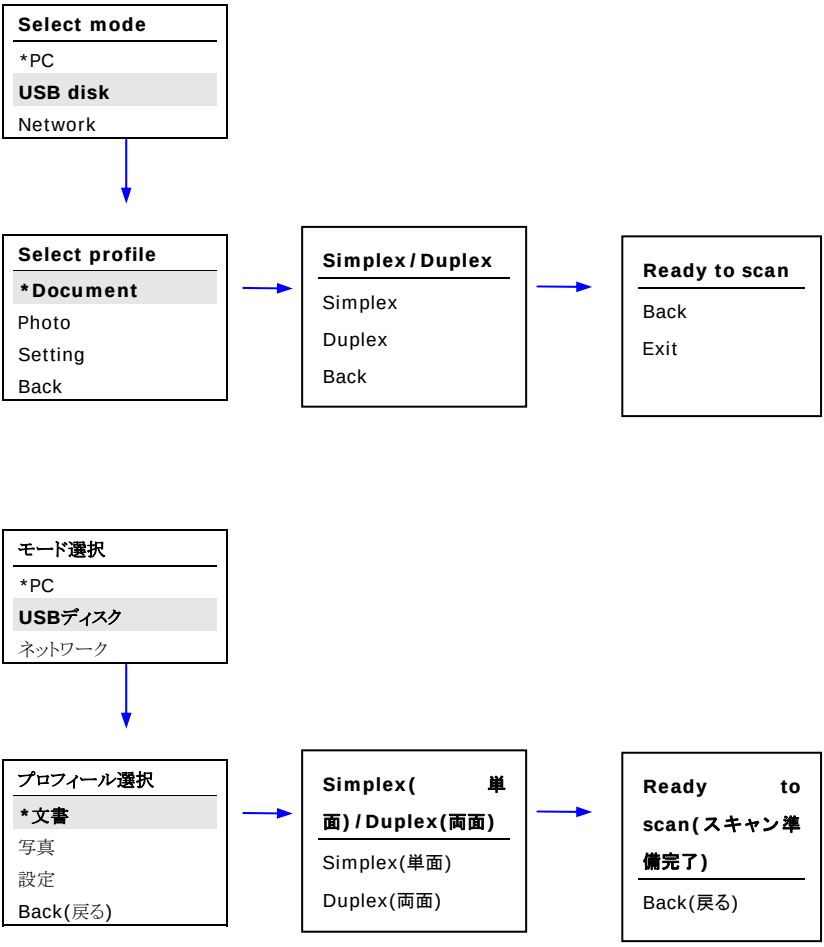
「USBディスク」モードから完全なメニューマップを開きます:

次に「USB disk(USBディスク)」と「Setting(設定)」が選択された場合:

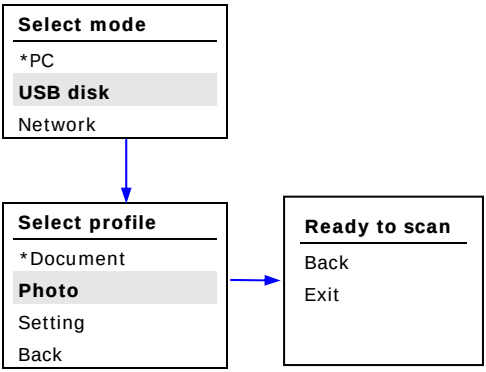


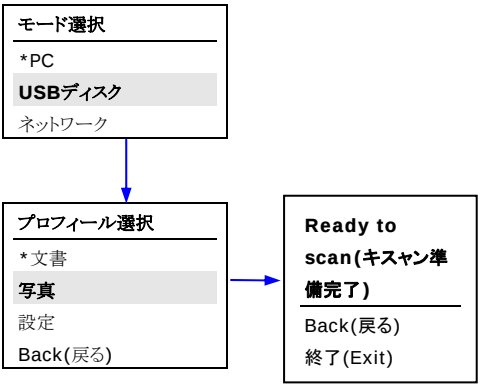

モード選択
*PC
USBディスク
ネットワーク
プロフィール選択
*文書
写真
設定
Back(戻る)
設定メニュー
*文書モード
写真モード
Back(戻る)
文書モード
*カラー/グレー
選択サイズ
Back(戻る)
写真モード
選択サイズ
Back(戻る)
カラー/グレー
*色
濃淡
Back(戻る)
選択サイズ
*ADFサイズ
フラットベッドサイズ
Back(戻る)
選択サイズ
*4”x6”
5”x7”
Back(戻る)
ADFサイズ
*レター
A4
リーガル
Back(戻る)
フラットベッドサイズ
*レター
A4
Back(戻る)

次に「**USB disk(USBディスク)**」と「**Setting(設定)**」を選択した場合:



次に「**USB disk(USB**ディスク**)**」と「**PHOTO(**写真**)**」を選択した場合**:**





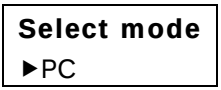
Back(戻る):前のメニューに戻ります。
Exit(終了):スタートメニューに戻ります。
*:デフォルトの設定を表示します。

8.4 スキャンサイズの変更

写真サイズを5インチ×7インチに変更するなど、スキャン設定をカスタマイズする場合には、次の手順に従ってください:

1. スキャナの電源がONで、USBフラッシュドライブがスキャナに挿入されていることを確認してください。

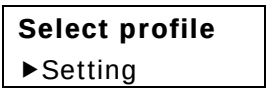
2. イラストのように「**Select mode(モード選択)**」がスキャナの液晶画面に表示されます。PC、ネットワークおよびUSBディスクから選択します。



3. 繰り返し**矢印**キーを押して、「**USB disk(USBディスク)**」を表示させます。

4. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。液晶画面に以下のSelect profile(プロフィール選択)が表示されます。選択にはDocument(文書)、Photo(写真)、Setting(設定)があります。

5. 繰り返し**矢印**キーを押して、「**Setting(設定)**」を表示させます。



6. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。液晶画面に以下のオプションが表示されます。選択: Document mode(文書モード)、Photo mode(写真モード)。

Setting menu
►Document mode

7. 繰り返し**矢印**キーを押して、「**Photo mode(写真モード)**」を表示させます。

Select profile
►Photo mode

8. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。液晶画面には「Select size(**サイズ選択)**」オプションが表示されます。

Photo mode
►Select size

9. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。液晶画面には「**Select size(サイズ選択)**」オプションが表示されます。選択:4”x6”、5”x7”。

Select size
►4”x6”*

10. **矢印**キーを「5”x7”」が表示されるまで押します。

Select size
►5”x7”

11. 選択を確定するには**Enter**キーを押します。液晶画面には、*(アスタリスク)マークで選択されたオプションが表示されます。

Select size
▶5”x7”*

12. 液晶画面に「戻る」オプションが表示されるまで、繰り返し**矢印**キーを押します。

Select size
▶Back

13. 前のメニュー項目に戻るには**Enter**キーを押してください。液晶画面には前のオプションが表示されます。

Photo mode
▶Select size

14. 液晶画面に「Back(戻る)」オプションが表示されるまで、繰り返し**矢印**キーを押します。

Photo mode
▶Back

15. 前のメニュー項目に戻るには**Enter**キーを押してください。液晶画面には前のオプションが表示されます。

Setting menu
▶Photo

16. 液晶画面に「Back(戻る)」オプションが表示されるまで、繰り返し**矢印**キーを押します。

Setting menu
▶Back

17. 前のオプションに戻るには**Enter**キーを押してください。液晶画面には前のオプションが表示されます。

Select profile
▶Setting

18. 矢印キーを押して、「**Photo**」モードを表示させます。

Select profile
▶Photo

19. 液晶画面には「**Ready to scan(スキャン準備完了)**」と表示されます。ドキュメントをスキャナに置いてください。

Ready to scan
▶Back

20. スキャナで**Scan**(スキャン)ボタンを押します。

21. スキャナがスキャンを始め、スキャン画像がUSBフラッシュドライブに保存されます。

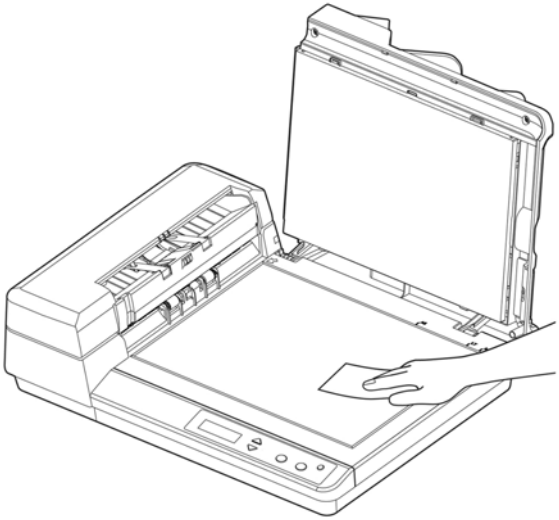
メモ:
同じ手順で、他のスキャン設定を変更してください。

9. 保守&お手入れ

9.1 ガラスをクリーニングする

手順

1. イソプロピルアルコール(95%)で綿棒を湿らせてください。
2. 以下に示されるようにADF本体と用紙カバーを開けてください。左右に綿棒を動かし、フラットベッド及びADFエリアのガラスを拭いてください。
3. ADF本体と用紙カバーを閉じてください。スキャナは使用可能です。



9.2 ADFのクリーンニング

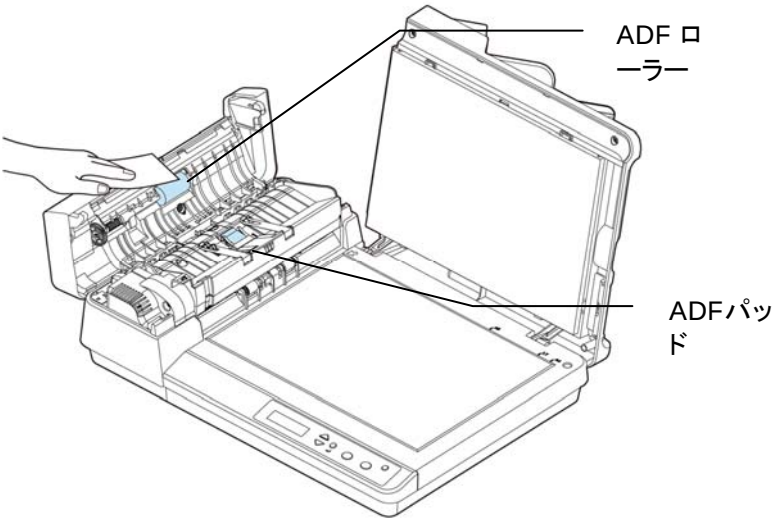
本スキャナは、保守不要設計されています。
しかし、最適のイメージ品質及び性能を保持するには時折クリーニングが必要となります。

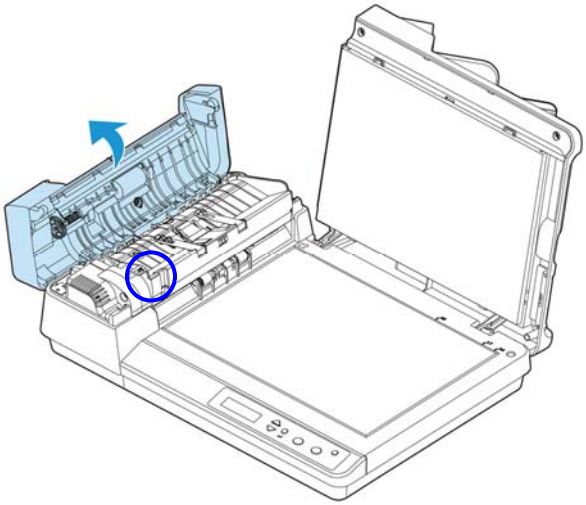
スキャナ部品は、インク、トナー粒子、又はペーパーコーティングで汚れている場合もあります。以下の場合はクリーンニングを行ってください：

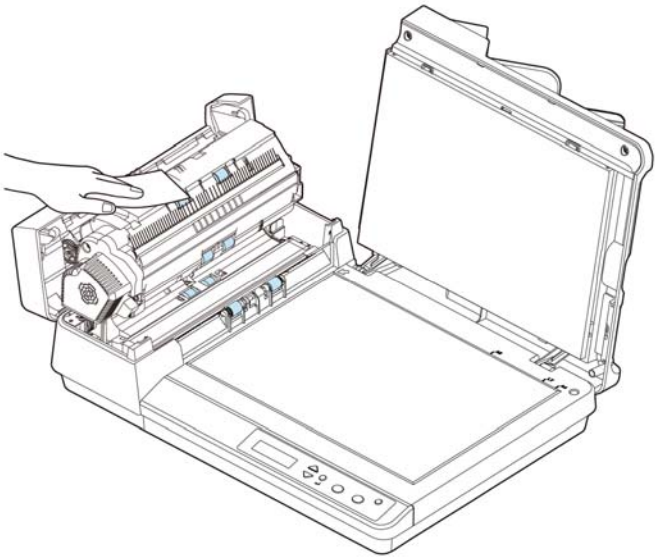
1. 用紙が、スムーズに給紙できない；
2. 一度に数枚の用紙が給紙される。

クリーニングの手順

1. リントフリークロス(糸くずの出ないクロス)に消毒用アルコールを含ませます。(濃度95%)
2. 下図のようにADFユニット前部を開け、上部の送紙ローラーを拭きます。指でローラーを給紙方向に回転させながら、ローラー全体がきれいになるまで上記のクリーニング手順を繰り返します。給紙スプリングを引っかけたり、破損したりしないよう十分注意してください。
3. パッドは上から下に拭いてください。給紙スプリングを引っかけないよう注意してください。
4. ADFリリース ボタンを引っ張り、ADFユニットを開けます。
5. ローラーがきれいになるまでローラーを拭きます。
6. ADFユニットとADFフロント カバーを閉じます。これで本製品を使用することができます。


ADF ロ
ーラー
ADFパッ
ド





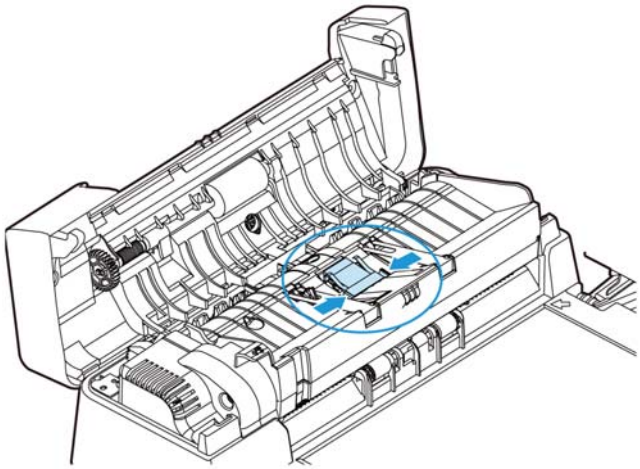
9.3 ADF取外し可能パケットモジュールの交換

ADFで約30,000ページをスキャンした後、パッドスプリングは擦り減り、給紙問題が生じる場合があります。この様な場合は、パッドモジュールを交換してください。パットモジュールのご購入に関しては最寄りの販売店にご相談ください。以下の手順に従い、パットモジュールを交換してください。

取外し手順

1. ADFフロントカバーを開けてください。

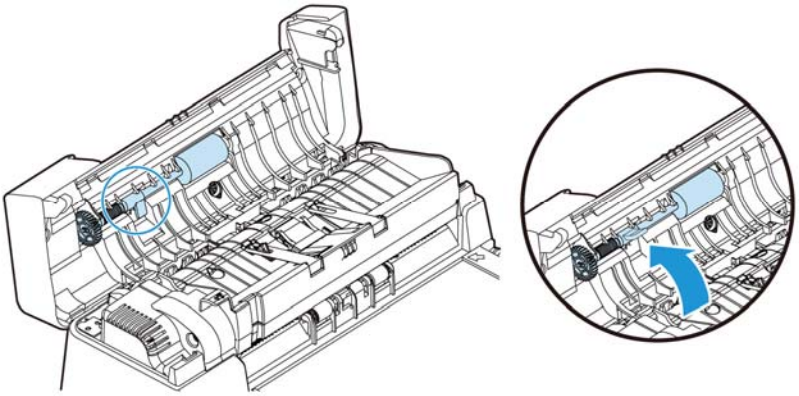
2. 下図に示されるように、パッド・クランプ上部を引き抜き、ADF取外し可能パッドモジュールを取外してください。



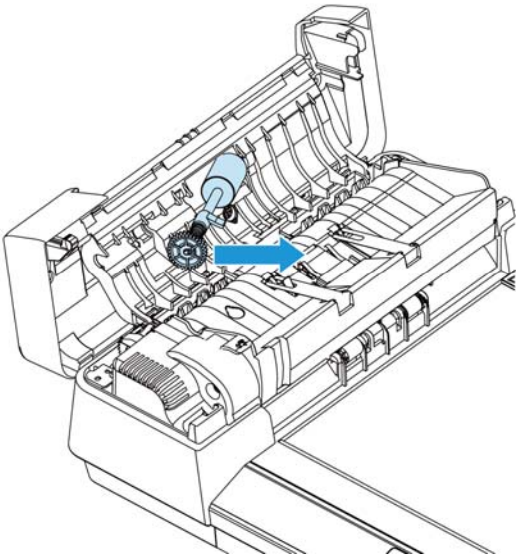
9.4 ADFローラーの交換

ADFによるスキャン枚数が約20万枚を超えると、ADFローラーがすり減ってドキュメントの給紙に問題が出始めます。その場合、ローラーを新しいものに交換することを強くお勧めします。ADFローラーは次の手順に従って交換してください。

1. ADFフロントカバーを開けます。
2. 図のようにADFローラータブを引き上げます。



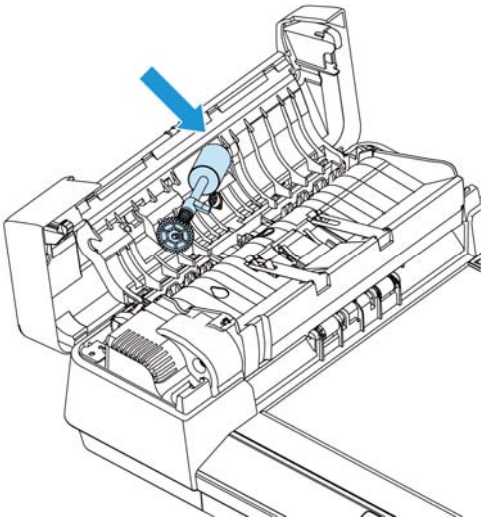
3. ローラーを保持したままわずかに前方に動かして、ローラーを取り外します。



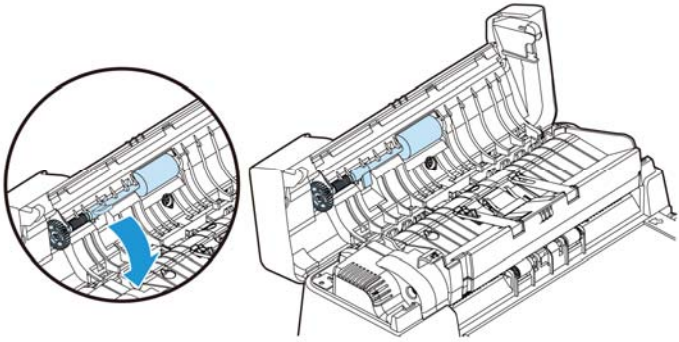
組み立て手順

ADFローラーを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. ADFローラーの両端をスロットに挿入します。



2. タブを押し下げます。正しく取り付けられた場合には、カチッという音がします。



10. トラブルシューティング

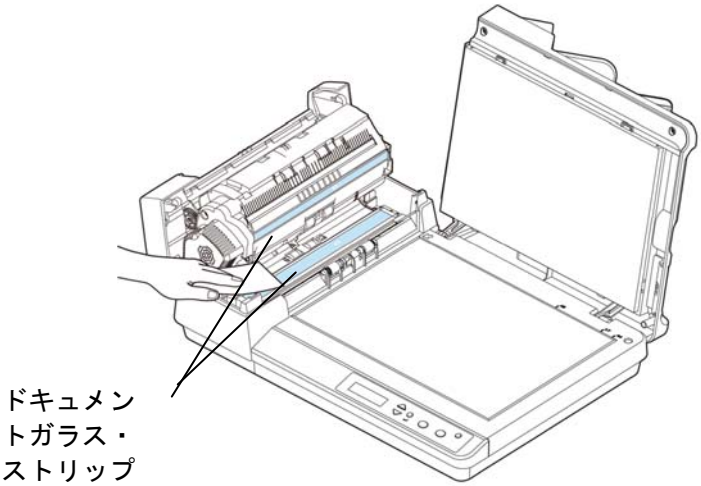
スキャナ操作に関する問題が生じた場合は、以下のトラブルシュート・ヒントをご参照ください。

10.1 スキャン画像の異常線を除去する

スキャン画像に異常な線があった場合、それはおそらくドキュメントガラス・ストリップ上のほこりあるいはトナー粒子によるものです。

ほこりまたはトナー粒子を取り除くには、

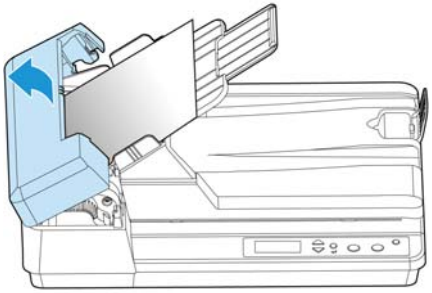
1. イソプロピル・アルコール (95%) を清潔で柔らかい布に含ませます。
2. 以下のようにドキュメントガラス・ストリップを拭いてください。
3. ドキュメントカバーを閉じます。製品の使用準備完了です。

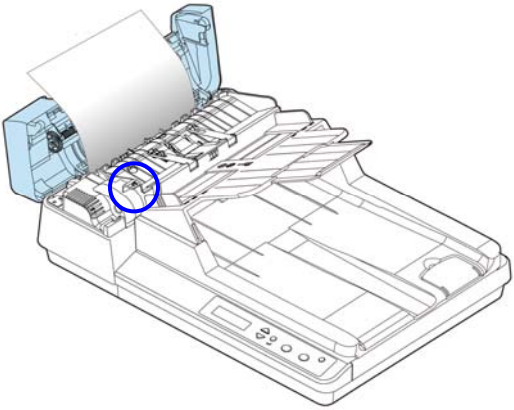


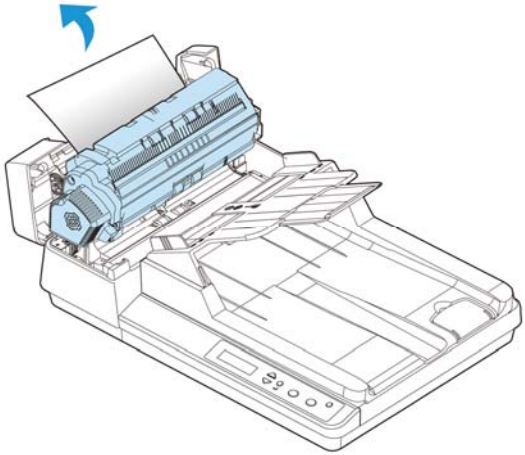
10.2 紙詰まりを除去する

紙が詰まった場合、以下の手順に従って紙を取り除いてください:

1. ADF フロントカバーをそっと左に開きます。
2. 文書カバーを開き、ADF リリース ボタンを引いて ADF ユニットを開けます。
3. ADF ユニットから紙を慎重に引き出します。
4. 文書カバー、ADF ユニット、最後に ADF フロント カバーを閉じます。 これでスキャナを使用することができます。







10.3 よくある質問

問題: スキャン中の用紙が詰まってしまった。
回答: 1) ADF本体を開けてください。
2) 慎重に、詰まった用紙を取り除いてください。
3) ADF本体を閉じてください。

問題: 1度に数枚の用紙が給紙される。
回答: 1) ADF本体を開けてください。
2) 給紙された用紙を取り除いてください。
3) ADF本体を閉じてください。
4) 用紙の角や端を平らにしてください;用紙ガイドに再びロードする前に用紙が貼り付かないようにご注意ください。
5) 給紙ローラーをチェックしてください;必要がある場合はクリーニングを行ってください。

問題: 用紙がスキャナの中で折り曲がってしまう。
回答: 1) 給紙ローラーをチェックしてください;必要がある場合はクリーニングを行ってください。
2) 給紙する際は、用紙ガイドを使用してください。

問題: スキャナの電源を入れると雑音がし、準備完了状態にならない。
回答: 2つの原因が考えられます:
1) スキャナの出荷ロックを取り外し忘れていませんか？まず、出荷ロックを取り外してください。
2) 平らでない場所にスキャナを置いていませんか？スキャナ機能の不具合を生じさせる場合もあります。

問題: スキャン中、スキャナから雑音がし、前後に繰り返しスキャンする。
回答: 低速PCの場合は、TWAINユーザ・インターフェースより低速度を選択してください。

問題: スキャンされたイメージが暗すぎる。
回答: 1)画面の設定をSRGBに調整してください。
2)アプリケーションソフトウェアから画面上の輝度設定を調整してください。

問題: ラインアート以外の機能は正常に作動するが、ラインアートのラインがオリジナルより太く見える。
回答: 輝度を増大させる。またはしきい値設定を調整し、ラインアートイメージを調整してください。

10.4 テクニカルサービス

Avisionにご連絡になる前に、下記のデータをご用意ください。

- スキャナーのシリアル・バージョン番号(スキャナー下部に位置します。)
- ハードウェア設定(例:ホストCPUタイプ、RAMサイズ、ディスク空き容量、ディスプレイカード、インタフェースカード)
- スキャンソフトウェアアプリケーション名およびバージョン
- スキャナードライバのバージョン

下記にご連絡ください:

本社

Avision Inc.
No. 20, Creation Road I, Hsinchu Science Park,
Hsinchu 300, Taiwan, ROC
TEL:+886 (3) 578-2388
FAX:+886 (3) 577-7017
E-メール:service@avision.com.tw
ウェブサイト:http://www.avision.com.tw

米国およびカナダ地区

Avision Labs, Inc.
6815 Mowry Ave., Newark CA 94560, USA
TEL:+1 (510) 739-2369
FAX:+1 (510) 739-6060
E-メール:support@avision-labs.com
ウェブサイト:http://www.avision.com

ウェブサイト

Hongcai Technology Limited
7A,No.1010,Kaixuan Road,Shanghai 200052 P.R.C.
TEL:+86-21-62816680
FAX:+86-21-62818856
E-メール:sales@avision.net.cn
ウェブサイト:http://www.avision.com.cn

ヨーロッパエリア

Avision Europe GmbH
Bischofstr. 101 D-47809 Krefeld Germany
TEL: +49-2151-56981-40
FAX: +49-2151-56981-42
E-メール: info@avision-europe.com
ウェブサイト: http://www.avision.de

11. 製品仕様

全ての仕様は、将来予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

Model Name	DF-1015S (Duplex scanner) DF-1004S (Simplex scanner)
スキャナタイプ	ADF/フラットベッド・デスクトップスキャナ
スキャンモード	Color/Grey/Black & White
光学解像度	600 dpi
標準光源	LED
スキャンドキュメントサイズ	8.5"*14"
用紙:	7~110 lbs (28~400 g/m2)
インタフェース	USB 2.0
電源要求	12Vdc, 2A
消費電力	15W未満 (操作) 6W未満 (スタンバイ) 5W未満 (省電力)
操作温度	10~35℃
寸法	453*324*237 mm (幅x奥行x高さ)
質量	4.03Kg

索引

A

ADFローラー, 9-6

E

Ethernet Hub, 7-5

G

G4, 4-22

J

JPEG, 4-22

L

LAN, 7-5

P

Print All, 4-55

符號

エッジフィル, **4-48**
オーバースキャン, **4-36**
カラー, **4-6**
カラードロップアウト
　赤、緑、青、カスタム, 4-25
カラーマッチング, **4-17**
キャッシュ
　なし、ページ番号、メモリ容量, **4-52**
グレイ, 4-6
コントラスト, **4-13**
スキャン範囲, **4-35**
ドロップアウト カラー
　赤を削除, 緑を削除, 青を削除, 4-24
ネットワークサーバー
　共有フォルダ、FTP、Microsoft SharePoint、Google Docs, 7-13
パッド カウントをリセット, **4-59**
フィルタしきい値, **4-26**
フォントの属性
　普通、下線、二重、太字, **4-56**
ボタンのプロパティ, 6-2
マルチフィード検出, 4-37
ミラー, 4-50
ローラー カウントをリセット, 4-59

四劃

切り抜き
　自動、転送固定、EOP (ページ終了) 検出, ドキュメントに基づく, オート多重, 4-29
反転, **4-15**
文字列の向き, **4-57**
文書の回転, **4-46**

五劃

白紙ページの削除, 4-48
白黒, 4-6

六劃

印刷位置, 4-56
自動色検出
　感度, 4-7

九劃

既定値, 4-3
省電力, 4-53
背景レベル, 4-26
背景設定, 4-51

十劃

紙詰まり, 10-2
追加長さ検出, 4-38

十一劃

動的閾値
　感度, 4-8

十二劃

斑点除去, 4-49
　ノイズ番号、ノイズ範囲, 4-49
超音波検出によるインテリジェントモード(マルチフィードのスキップ)
　無効、長さ(ドキュメント/オブジェクト)を基準とした場合、位置を基準とした場合、長さ(ドキュメント/オブジェクト)+位置を基準とした場合, 4-38

十三劃

傾き補正, 4-35
搬送タイムアウト, 4-36
解像度, 4-14

十五劃

輝度, 4-13

符號

値化
　動的しきい値, 固定処理, 4-8
画像回転, 4-47